

平成 2 7 年県民意識調査結果報告書
【概要版】

平成 2 8 年 3 月
宮 城 県

目次

I 調査の概要	1
1 調査の趣旨	1
2 調査の実施状況	1
3 調査結果の見方	2
II 調査結果	3
1 宮城県の復旧・復興の進捗状況について	3
2 宮城県震災復興計画について	4
(1) 分野1 環境・生活・衛生・廃棄物	4
(2) 分野2 保健・医療・福祉	6
(3) 分野3 経済・商工・観光・雇用	8
(4) 分野4 農業・林業・水産業	11
(5) 分野5 公共土木施設	14
(6) 分野6 教育	17
(7) 分野7 防災・安全・安心	19
3 テーマ別項目	21
(1) 東日本大震災の記憶の風化について	21
(2) 廃棄物等の3Rと適正処理について	23
(3) 宮城の食について	25
III 参考資料	27
1 回答者属性一覧	27
2 宮城県震災復興計画（各取組の「高重視群」,「満足群」,「不満群」の概要）	28

I 調査の概要

1 調査の趣旨

この調査は、行政活動の評価に関する条例（平成 13 年宮城県条例第 70 号）第 7 条の規定により実施するもので、「宮城県震災復興計画」の体系に基づく 7 分野 23 の取組について、県民がどの程度重視しているか、満足しているか、また特にどのようなことを優先的に取り組むべきと考えているかなどを調査しています。その結果は公表するとともに、県の政策評価・施策評価や施策・事業等の企画立案などに活用します。

2 調査の実施状況

①調査対象

宮城県に居住する 20 歳以上の男女 4,000 人（選挙人名簿等から無作為抽出）

②調査方法

郵送方式

③調査期間

平成 27 年 12 月 8 日（火）から平成 27 年 12 月 28 日（月）まで

④調査項目

- 「宮城県の復旧・復興の進捗状況」に関する項目
- 「宮城県震災復興計画」の体系に基づく 7 分野 23 の取組に関する認知度、関心度、重視度、満足度及び各分野において今後優先すべきと思う施策に関する項目
- テーマ別項目（「東日本大震災の記憶の風化」、「廃棄物等の 3 R と適正処理」、「宮城の食」）
- 回答者属性及び調査方法等に関する項目

⑤回収結果

回収率 47.78% （回収数 1,911 通 / 4,000 通）

3 調査結果の見方

○比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

このため、百分率の計が100%にならないことがあります。

○本調査は無作為抽出調査であるため、調査結果を見る際には、母集団から標本（調査対象）を抽出することによって生じる「標本誤差（母集団全体を調査した場合に得られる真の値との差）」を考慮する必要があります。

今回の調査結果の標本誤差は、約±2%と見ることができます。

（例：今回の調査結果において、設問中の選択肢の「重要」の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は約±2%以内（真の値が58%～62%以内にある）と見ることができます。）

○この調査で用いている用語は、次のとおりです。

- ・高実感群割合とは、復旧・復興の進捗状況の実感に関する設問で、「進んでいると感じる」、「やや進んでいると感じる」と回答した割合を合わせたものです。
- ・低実感群割合とは、復旧・復興の進捗状況の実感に関する設問で、「やや遅れていると感じる」、「遅れていると感じる」と回答した割合を合わせたものです。
- ・高重視群割合とは、重視度に関する設問で、「重要」、「やや重要」と回答した割合を合わせたものです。
- ・低重視群割合とは、重視度に関する設問で、「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した割合を合わせたものです。
- ・満足群割合とは、満足度に関する設問で、「満足」、「やや満足」と回答した割合を合わせたものです。
- ・不満群割合とは、満足度に関する設問で、「やや不満」、「不満」と回答した割合を合わせたものです。

- ・沿岸部とは、仙台市（青葉区、宮城野区、若林区、太白区、泉区）、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、多賀城市、岩沼市、東松島市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、女川町、南三陸町の15市町です。
- ・内陸部とは、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の20市町村です。

- ・仙南圏域とは、白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町の9市町です。
- ・仙台圏域とは、仙台市（青葉区、宮城野区、若林区、太白区、泉区）、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村の14市町村です。
- ・大崎圏域とは、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の5市町です。
- ・栗原圏域とは、栗原市の1市です。
- ・登米圏域とは、登米市の1市です。
- ・石巻圏域とは、石巻市、東松島市、女川町の3市町です。
- ・気仙沼・本吉圏域とは、気仙沼市、南三陸町の2市町です。

II 調査結果

1 宮城県の復旧・復興の進捗状況について

宮城県の復旧・復興の進捗状況について調査したところ、次のような結果となりました。

調査結果の概要

【全般的な進捗状況】

- 県全体で、全般的な復旧・復興について、「進んでいる」又は「やや進んでいる」と回答している「高実感群割合」は、28.3%、「やや遅れている」又は「遅れている」と回答している「低実感群割合」は、45.5%となっています。
- 県全体の前回調査との差異を見てみると、高実感群は7.6ポイント増加（20.7%→28.3%）し、低実感群は9.6ポイント減少（55.1%→45.5%）しています。

図 1 復旧・復興の進捗状況の実感に関する割合（県全体）

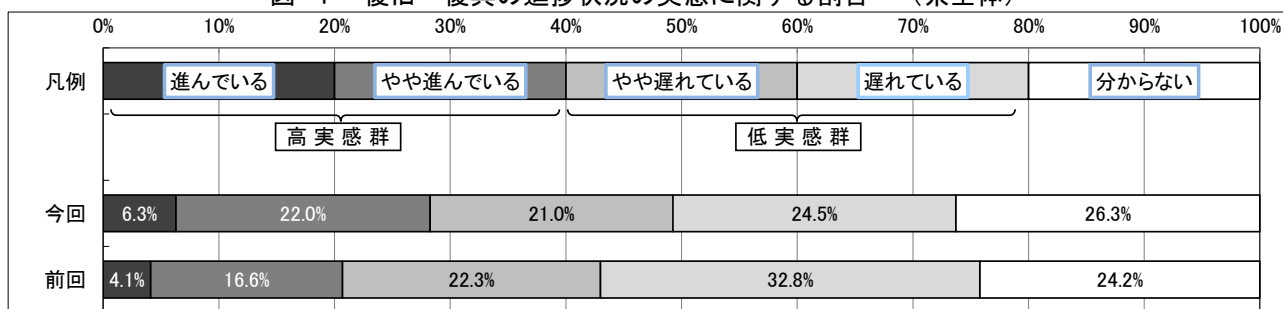


表 1 高実感群割合（回答者属性別）

県全体	性別		年代別		地域別		圏域別						
	男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
今回	28.3%	28.3%	27.9%	28.8%	29.1%	27.5%	26.8%	32.6%	30.7%	29.5%	23.9%	34.9%	18.3%
前回	20.7%	19.5%	21.5%	19.0%	23.9%	18.8%	21.4%	26.8%	24.7%	15.4%	13.6%	25.9%	18.5%

2 宮城県震災復興計画について

「宮城県震災復興計画」の体系に基づく7つの分野ごとに「重視度」、「満足度」及び「特に優先すべきと思う施策」を調査したところ、次のような結果となりました。

(1) 分野1 環境・生活・衛生・廃棄物

取組	施策
1 被災者の生活環境の確保	1 被災者の良好な生活環境の確保 2 災害公営住宅の早期整備 3 恒久的な住宅での安定した生活に向けた支援 4 地域コミュニティの再生と被災地の活力創出に向けた多様な活動への支援
2 廃棄物の適正処理	
3 持続可能な社会と環境保全の実現	5 再生可能エネルギーの導入とスマートシティの形成 6 自然環境の保全の実現

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組3（64.7%）」で、次いで「取組1（63.7%）」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組1」が7.1ポイント（70.8%→63.7%）、「取組3」が3.3ポイント（68.0%→64.7%）減少しています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組3（39.7%）」で、次いで「取組1（38.4%）」の順となっています。
- 「満足群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組3」が0.9ポイント（38.8%→39.7%）増加、「取組1」が1.4ポイント（39.8%→38.4%）減少しています。
- 県全体で、「不満群割合」が最も高かったのは、「取組1（24.8%）」で、次いで「取組3（24.5%）」の順となっています。
- 「不満群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組1」が3.0ポイント（27.8%→24.8%）、「取組3」が2.2ポイント（26.7%→24.5%）減少しています。

【特に優先すべきと思う施策】

- 県全体で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、「施策1（21.6%）」で、次いで「施策6（20.9%）」、「施策3（18.5%）」の順となっています。

図2 重視度割合（県全体）

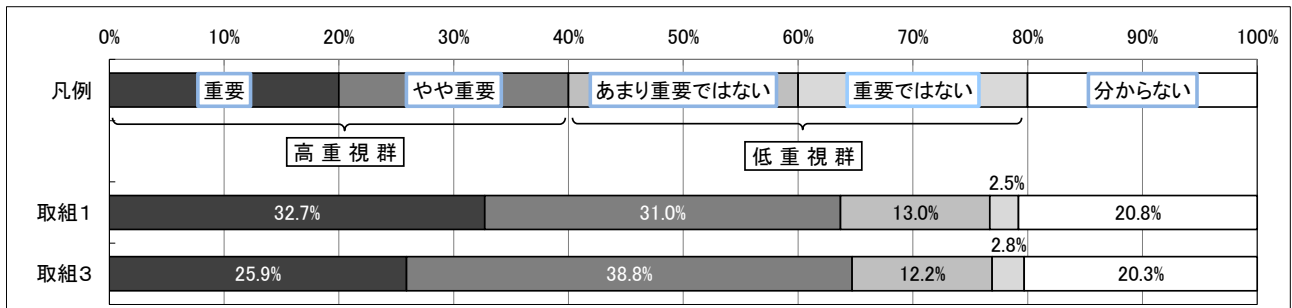


表2 高重視群割合（回答者属性別）

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	63.7% (70.8%)	64.5%	63.1%	62.7%	65.6%	63.9%	63.8%	66.3%	68.2%	59.0%	66.8%	61.6%	65.7%	58.9%
取組3	64.7% (68.0%)	68.2%	61.5%	65.1%	64.0%	64.0%	65.5%	64.9%	65.3%	64.5%	68.1%	62.3%	66.2%	62.6%

図 3 満足度割合 (県全体)

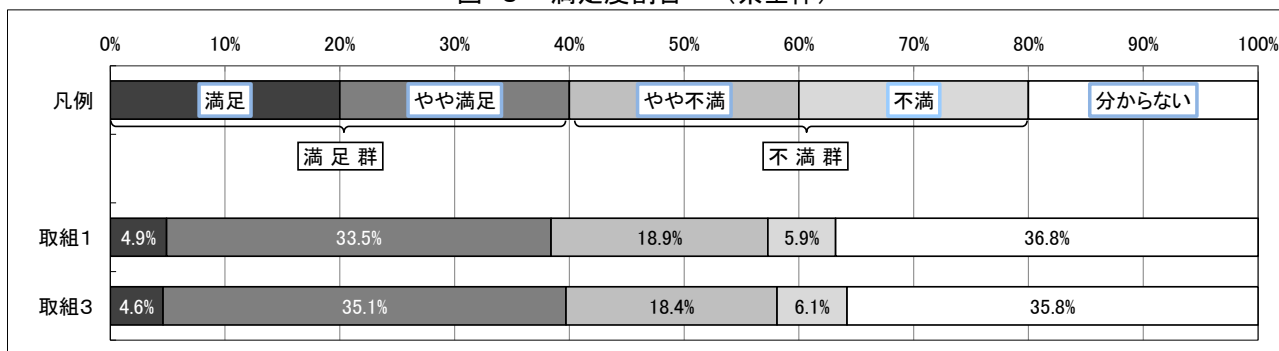


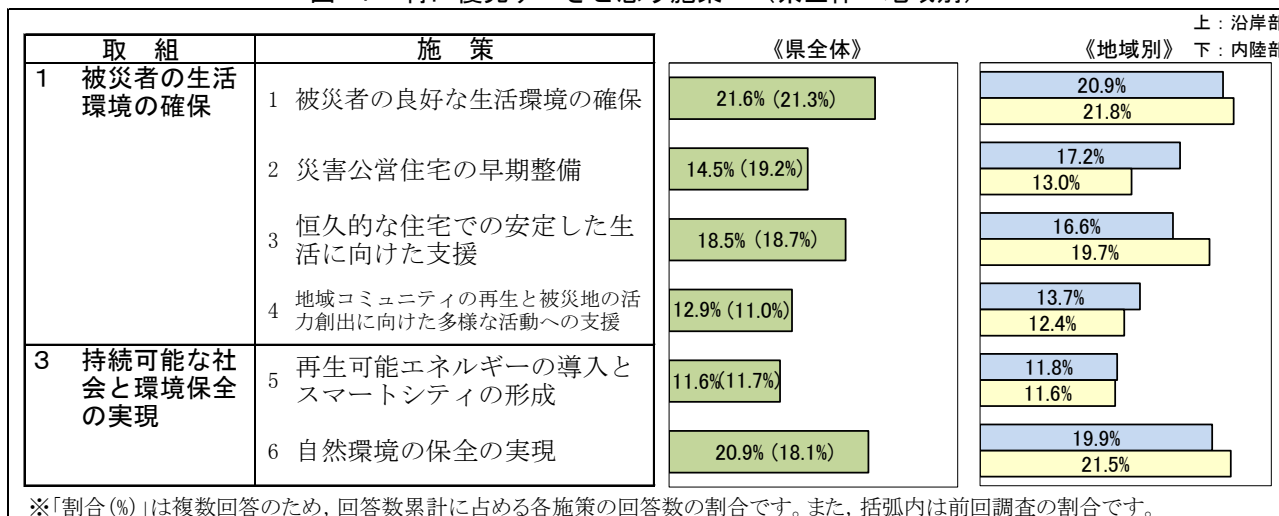
表 3 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	38.4% (39.8%)	38.3%	38.3%	35.2%	45.0%	39.3%	37.8%	37.4%	39.3%	35.9%	40.3%	37.6%	39.4%	38.8%
取組3	39.7% (38.8%)	40.0%	39.2%	38.1%	42.8%	39.1%	39.9%	43.8%	39.6%	32.5%	44.5%	37.3%	40.2%	38.7%

表 4 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	24.8% (27.8%)	28.6%	21.4%	27.0%	20.4%	25.7%	24.7%	23.1%	24.4%	25.0%	24.9%	27.0%	29.2%	22.3%
取組3	24.5% (26.7%)	31.1%	18.2%	25.2%	23.0%	23.6%	25.4%	16.8%	22.8%	31.7%	22.1%	31.7%	23.6%	23.9%

図 4 特に優先すべきと思う施策 (県全体・地域別)



(2) 分野2 保健・医療・福祉

取組	施策
1 安心できる地域医療の確保	1 被災市町村の健康づくり施策の支援 2 被災医療機関等の再整備の推進 3 保健・医療・福祉連携の推進
2 未来を担う子どもたちへの支援	4 被災した子どもと親への支援 5 児童福祉施設等の整備 6 地域全体での子ども・子育て支援
3 だれもが住みよい地域社会の構築	7 県民の心のケア 8 社会福祉施設等の整備 9 地域包括ケアシステムの構築 10 災害公営住宅を含む地域の包括的な支え合い体制の構築

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組2（80.9%）」で、次いで「取組3（75.1%）」、「取組1（74.5%）」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組2」が3.3ポイント（84.2%→80.9%）減少するなど、全ての取組で減少しています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組2（47.6%）」で、次いで「取組1（45.5%）」、「取組3（40.5%）」の順となっています。
- 「満足群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組2」が1.7ポイント（49.3%→47.6%）減少するなど、全ての取組で減少しています。
- 県全体で、「不満群割合」が最も高かったのは、「取組3（22.9%）」で、次いで「取組1（21.5%）」、「取組2（21.0%）」の順となっています。
- 「不満群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組2」が1.4ポイント（19.6%→21.0%）、「取組3」が1.1ポイント（21.8%→22.9%）増加、「取組1」が1.1ポイント（22.6%→21.5%）減少しています。

【特に優先すべきと思う施策】

- 県全体で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、「施策3（17.8%）」で、次いで「施策6（15.7%）」、「施策4（12.7%）」の順となっています。

図5 重視度割合（県全体）

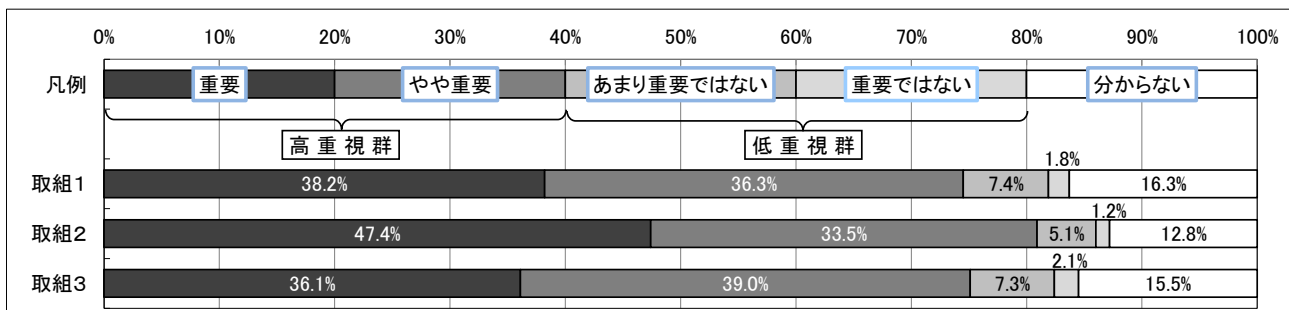


表 5 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	74.5% (77.5%)	74.9%	74.1%	73.1%	77.3%	75.4%	74.3%	73.2%	71.9%	71.6%	74.0%	78.6%	75.3%	78.8%
取組2	80.9% (84.2%)	81.2%	80.5%	80.2%	82.2%	81.3%	81.2%	83.3%	83.4%	79.0%	81.1%	80.9%	77.9%	83.4%
取組3	75.1% (77.2%)	74.1%	75.9%	72.9%	79.2%	77.0%	74.0%	72.9%	79.9%	73.7%	75.4%	72.7%	73.5%	78.8%

図 6 満足度割合 (県全体)

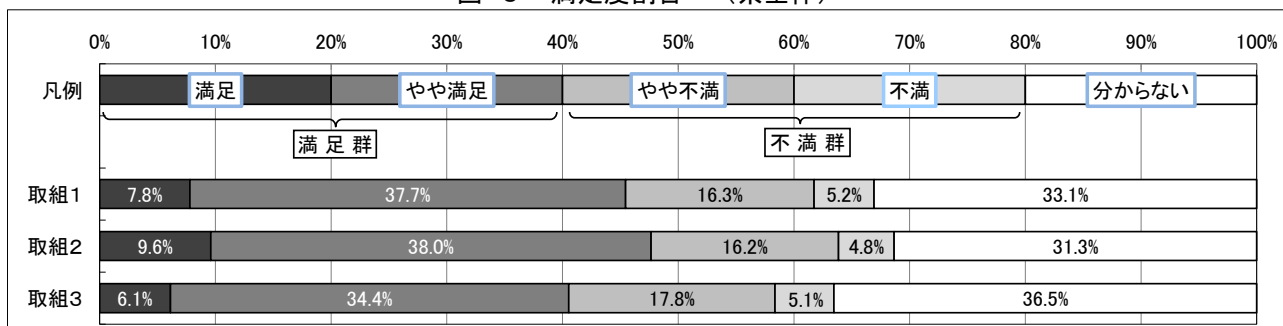


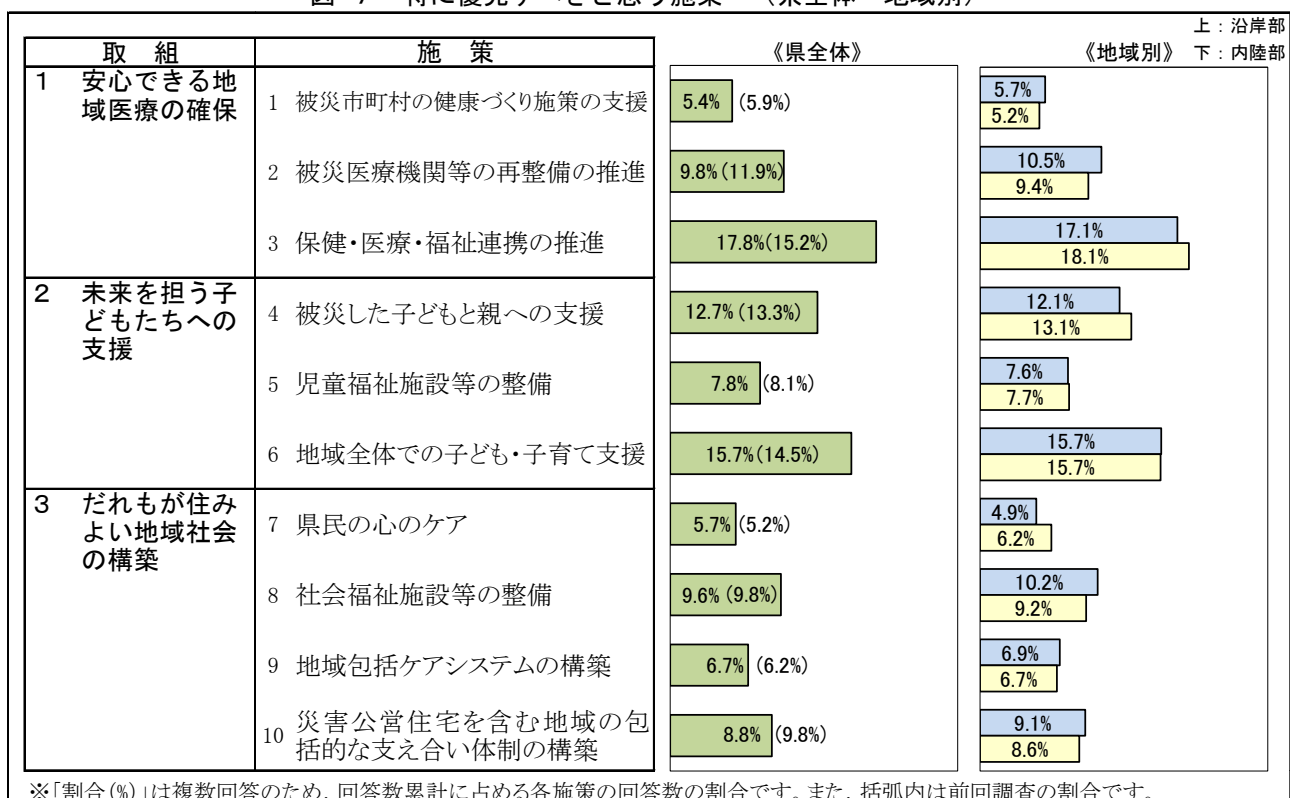
表 6 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	45.5% (45.7%)	43.0%	47.8%	41.8%	53.3%	48.0%	44.0%	45.7%	44.6%	40.8%	45.0%	44.4%	48.4%	50.5%
取組2	47.6% (49.3%)	44.8%	50.1%	44.2%	54.4%	48.1%	47.6%	49.8%	49.4%	44.0%	47.1%	48.8%	45.6%	50.0%
取組3	40.5% (41.1%)	37.4%	43.5%	35.5%	51.2%	40.7%	40.8%	39.5%	37.4%	40.1%	41.0%	43.3%	38.5%	45.8%

表 7 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	21.5% (22.6%)	26.1%	16.8%	22.2%	19.5%	21.7%	21.3%	16.1%	18.0%	23.2%	22.5%	24.4%	22.7%	22.7%
取組2	21.0% (19.6%)	25.6%	16.7%	22.5%	18.1%	21.3%	20.8%	16.5%	14.5%	23.7%	22.2%	22.9%	25.5%	21.7%
取組3	22.9% (21.8%)	27.8%	18.2%	24.1%	20.1%	22.9%	22.7%	18.3%	21.3%	25.3%	26.0%	22.3%	24.2%	22.0%

図 7 特に優先すべきと思う施策 (県全体・地域別)



(3) 分野3 経済・商工・観光・雇用

取組	施策
1 ものづくり産業の復興	1 被災事業者の復旧・事業再開への支援 2 経営安定等に向けた融資制度の充実 3 企業の競争力向上に向けた技術開発, 人材育成等への支援 4 更なる販路開拓・取引拡大等に向けた支援 5 更なる企業誘致の展開と新たな産業集積の促進
2 商業・観光の再生	6 沿岸部のまちづくりの状況に応じた商業機能の再生 7 経営安定等に向けた融資制度の充実 8 商工会, 商工会議所等の機能強化に向けた支援 9 先進的な商業の確立に向けた支援 10 IT企業等の支援・活用 11 沿岸被災地の観光回復 12 外国人観光客の回復 13 東北が一体となった広域観光の充実 14 国内外からの誘客強化と受入態勢の整備
3 雇用の維持・確保	15 緊急的な雇用と安定的な雇用の維持・確保 16 新規学卒者等の就職支援 17 被災事業者の事業再開と企業誘致等による雇用の確保 18 復興に向けた産業人材育成

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組3 (67.1%)」で、次いで「取組1 (63.8%)」, 「取組2 (62.9%)」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組3」が 5.9 ポイント (73.0% → 67.1%) 減少するなど、全ての取組で減少しています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組2 (38.6%)」で、次いで「取組3 (33.3%)」, 「取組1 (32.3%)」の順となっています。
- 「満足群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組1」が 0.7 ポイント (31.6% → 32.3%) 増加, 「取組2」が 1.9 ポイント (40.5% → 38.6%), 「取組3」が 1.0 ポイント (34.3% → 33.3%) 減少しています。
- 県全体で、「不満群割合」が最も高かったのは、「取組3 (24.7%)」で、次いで「取組1 (22.9%)」, 「取組2 (20.7%)」の順となっています。
- 「不満群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組3」が 3.8 ポイント (28.5% → 24.7%) 減少するなど、全ての取組で減少しています。

【特に優先すべきと思う施策】

- 県全体で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、「施策1 (9.9%)」で、次いで「施策15 (9.4%)」, 「施策6 (8.8%)」の順となっています。

図 8 重視度割合 (県全体)

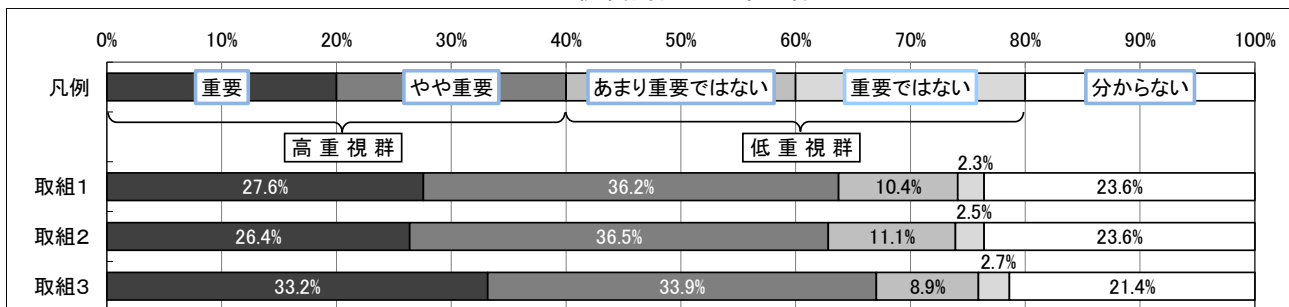


表 8 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	63.8% (67.8%)	69.1%	58.9%	63.1%	65.2%	64.0%	64.1%	63.5%	65.0%	61.8%	66.3%	63.7%	63.8%	64.3%
取組2	62.9% (68.3%)	66.3%	59.8%	62.8%	63.2%	61.3%	64.4%	66.7%	66.4%	62.1%	65.1%	61.9%	59.7%	60.5%
取組3	67.1% (73.0%)	70.6%	64.0%	66.9%	67.8%	67.8%	67.2%	69.0%	66.3%	66.2%	65.4%	66.8%	66.3%	72.8%

図 9 満足度割合 (県全体)

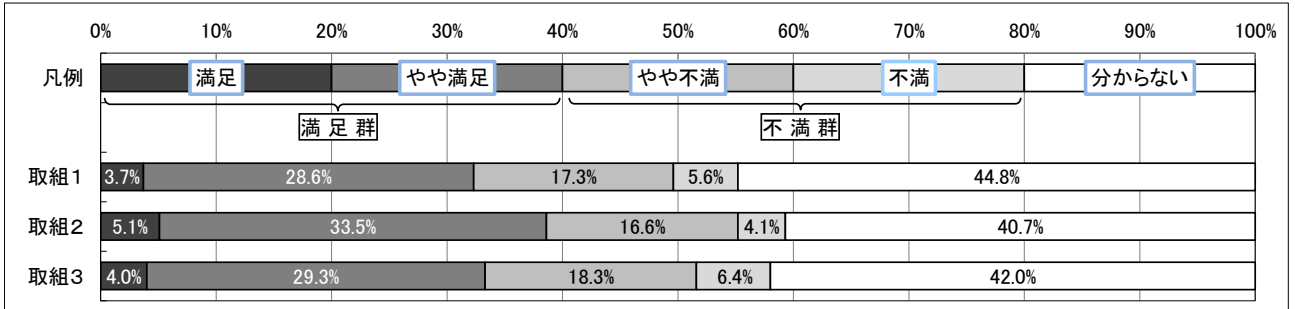


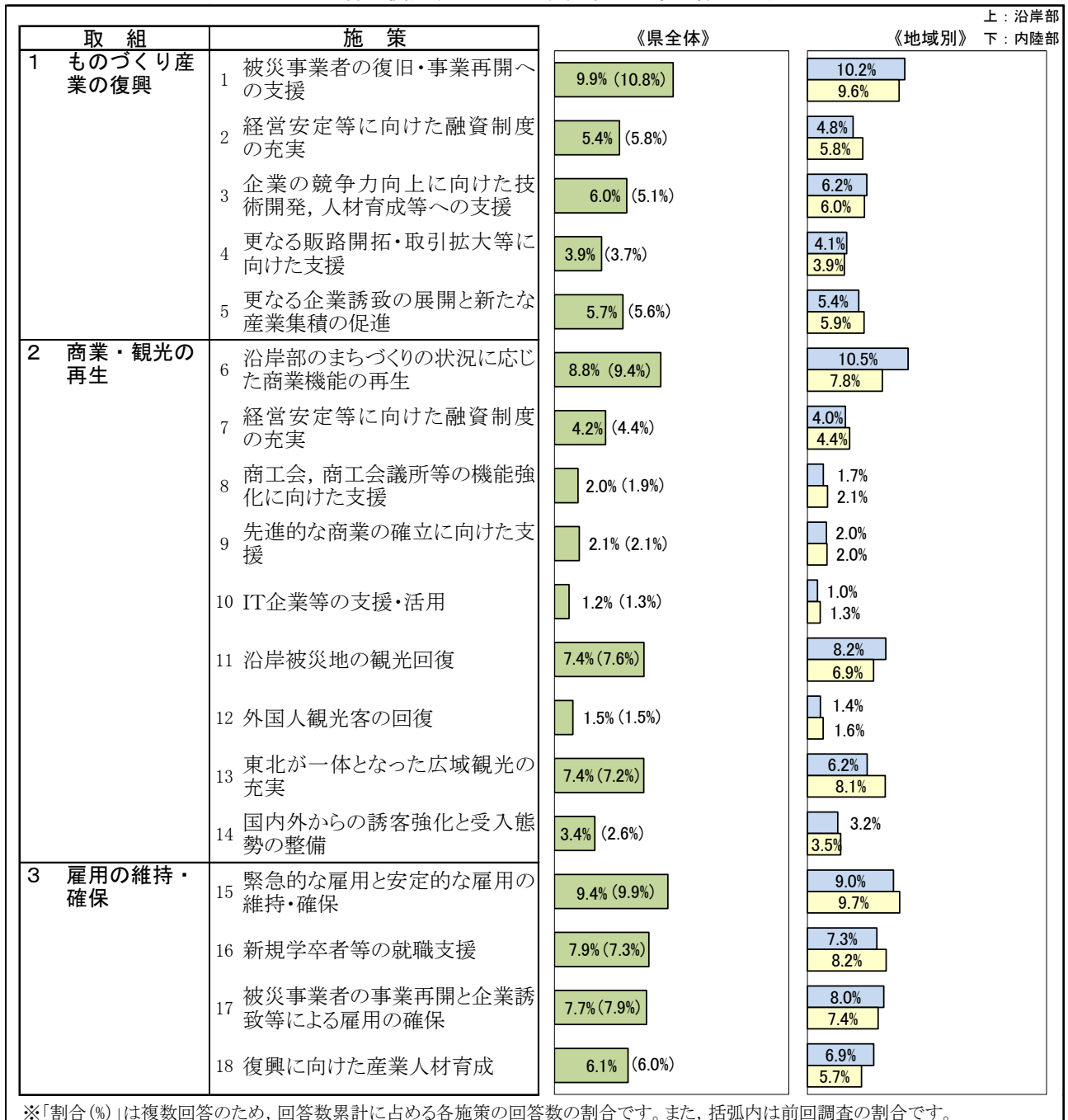
表 9 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	32.3% (31.6%)	33.3%	31.3%	29.3%	38.8%	31.4%	33.2%	34.3%	33.2%	30.2%	33.2%	34.0%	34.6%	27.5%
取組2	38.6% (40.5%)	37.9%	39.1%	36.6%	42.6%	35.4%	40.8%	46.2%	40.3%	37.8%	38.9%	39.3%	34.5%	33.5%
取組3	33.3% (34.3%)	34.2%	32.4%	29.5%	41.1%	34.4%	32.5%	32.8%	28.9%	28.9%	34.1%	32.8%	36.7%	39.1%

表 10 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	22.9% (25.9%)	29.2%	16.8%	23.3%	21.9%	24.5%	21.7%	16.6%	19.8%	27.8%	21.5%	21.7%	23.7%	28.9%
取組2	20.7% (22.3%)	25.8%	15.8%	21.3%	19.6%	24.6%	18.3%	13.9%	22.7%	24.1%	18.9%	16.7%	24.8%	25.0%
取組3	24.7% (28.5%)	29.6%	20.1%	27.2%	19.4%	24.9%	24.7%	20.7%	25.0%	32.4%	22.2%	25.3%	22.8%	25.0%

図 10 特に優先すべきと思う施策 (県全体・地域別)



※「割合 (%)」は複数回答のため、回答数累計に占める各施策の回答数の割合です。また、括弧内は前回調査の割合です。

(4) 分野4 農業・林業・水産業

取組	施策
1 魅力ある農業・農村の再興	1 生産基盤の復旧及び営農再開支援 2 新たな地域農業の構築に向けた生産基盤の整備 3 競争力ある農業経営の実現 4 にぎわいのある農村への再生
2 活力ある林業の再生	5 復興に向けた木材供給の拡大・産業発展への支援 6 被災住宅等の再建及び木質バイオマス利用拡大への支援 7 海岸防災林の再生と県土保全の推進
3 新たな水産業の創造	8 水産業の早期再開に向けた支援 9 水産業集約地域、漁業拠点の再編整備 10 競争力と魅力ある水産業の形成 11 安全・安心な生産・供給体制の整備
4 一次産業を牽引する食産業の振興	12 食品製造事業者の本格復旧への支援 13 競争力の強化による販路の拡大 14 食材王国みやぎの再構築 15 県産農林水産物の安全性確保と風評の払拭等

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組3 (65.6%)」で、次いで「取組4 (61.5%)」、「取組1 (60.6%)」、「取組2 (51.5%)」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組2」が7.4ポイント(58.9%→51.5%)減少するなど、全ての取組で減少しています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組3 (37.7%)」で、次いで「取組4 (35.8%)」、「取組2 (30.0%)」、「取組1 (29.7%)」の順となっています。
- 「満足群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組2」が4.8ポイント(34.8%→30.0%)減少するなど、全ての取組で減少しています。
- 県全体で、「不満群割合」が最も高かったのは、「取組1 (22.4%)」で、次いで「取組3 (18.3%)」及び「取組4 (18.3%)」、「取組2 (17.5%)」の順となっています。
- 「不満群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組1」が2.9ポイント(25.3%→22.4%)減少するなど、全ての取組で減少しています。

【特に優先すべきと思う施策】

- 県全体で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、「施策11 (11.5%)」で、次いで「施策4 (8.7%)」、「施策15 (8.5%)」の順となっています。

図 1 1 重視度割合 (県全体)

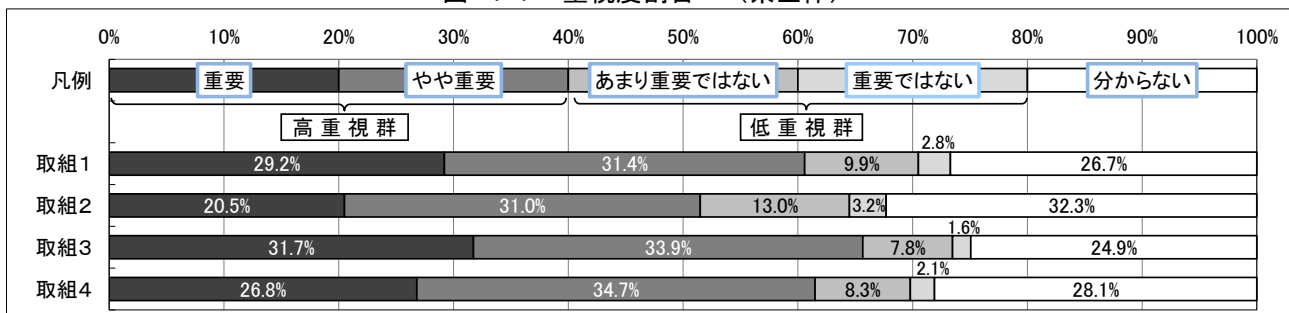


表 1 1 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	60.6% (67.6%)	64.7%	56.7%	59.1%	63.7%	57.9%	62.5%	61.0%	62.5%	59.9%	62.8%	63.8%	56.2%	58.3%
取組2	51.5% (58.9%)	53.2%	50.2%	48.3%	58.4%	49.5%	53.1%	53.1%	53.0%	48.8%	53.8%	55.8%	48.7%	48.0%
取組3	65.6% (71.3%)	70.0%	61.7%	63.5%	70.1%	68.3%	63.9%	61.9%	65.4%	62.3%	65.6%	63.6%	69.0%	73.1%
取組4	61.5% (64.5%)	62.2%	60.9%	59.9%	65.0%	62.2%	61.3%	62.9%	60.9%	57.7%	62.7%	60.0%	60.1%	68.2%

図 1 2 満足度割合 (県全体)

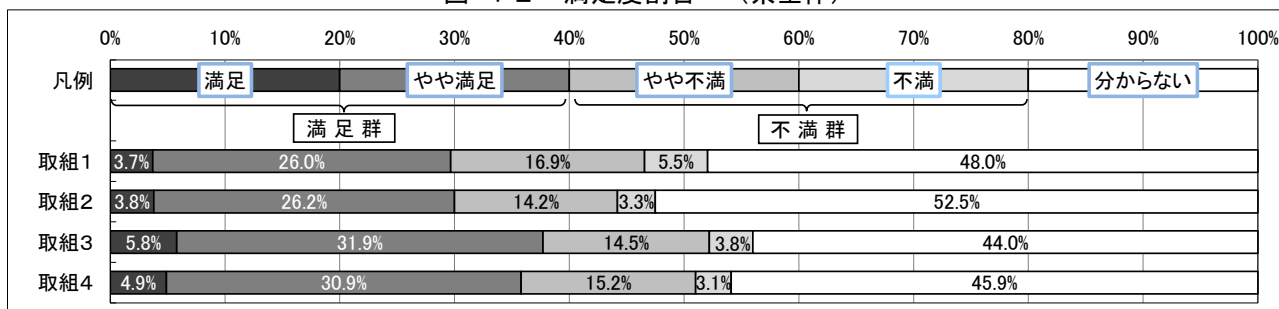


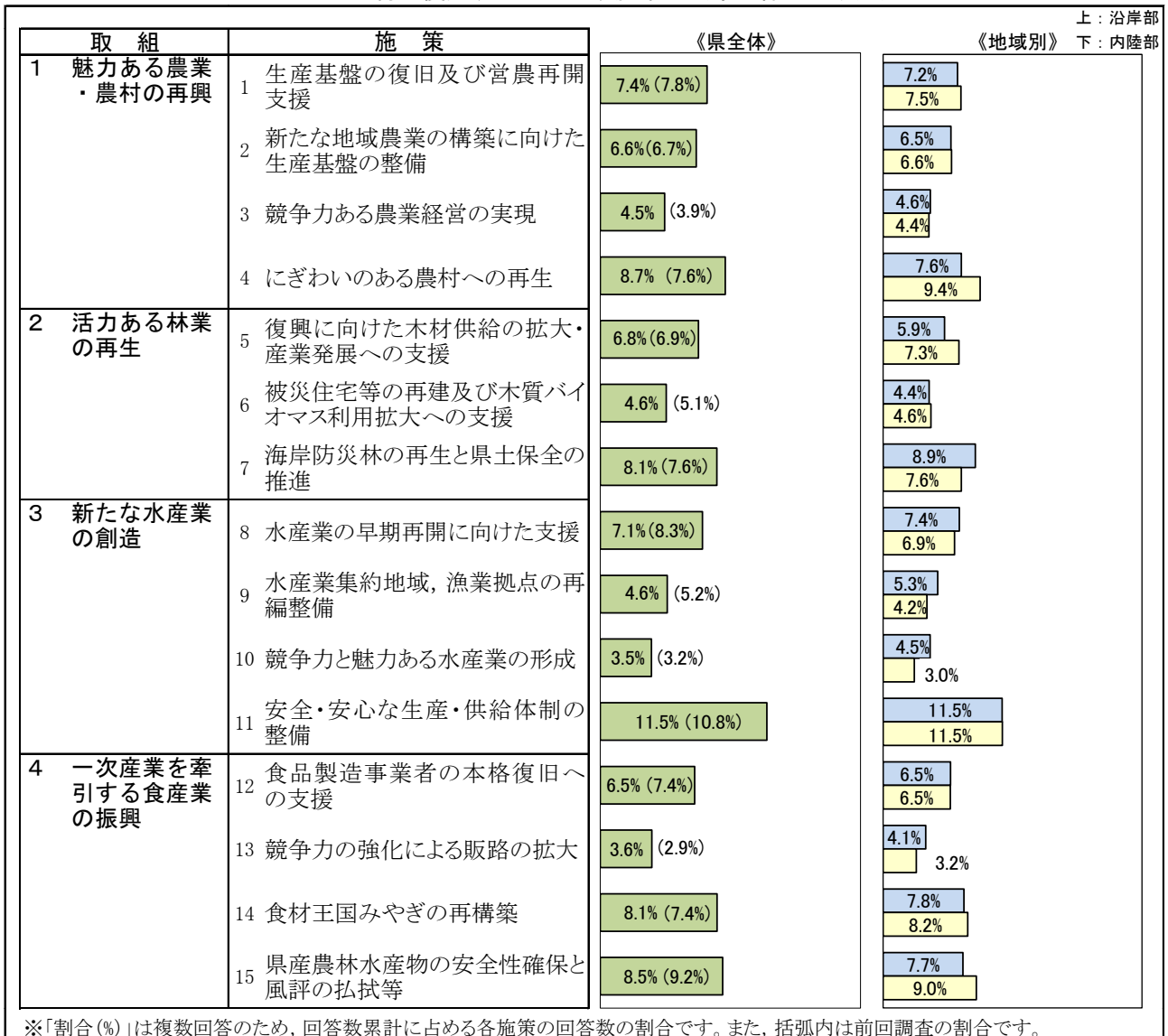
表 1 2 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	29.7% (31.4%)	31.5%	27.8%	25.3%	38.8%	28.8%	30.0%	31.0%	28.4%	26.8%	32.1%	29.2%	32.7%	26.2%
取組2	30.0% (34.8%)	31.5%	28.4%	26.7%	36.7%	29.4%	30.4%	31.0%	28.7%	26.8%	30.8%	32.5%	31.4%	28.7%
取組3	37.7% (37.8%)	39.2%	36.2%	33.7%	45.9%	38.1%	37.4%	36.7%	38.1%	36.1%	40.2%	35.5%	40.1%	37.4%
取組4	35.8% (36.1%)	34.3%	37.1%	33.2%	41.2%	35.8%	35.9%	36.2%	36.0%	32.4%	36.5%	37.8%	35.4%	37.1%

表 1 3 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	22.4% (25.3%)	27.5%	17.3%	22.7%	21.7%	22.4%	22.7%	14.7%	22.3%	26.0%	24.2%	25.7%	20.6%	23.9%
取組2	17.5% (18.0%)	22.9%	12.5%	17.5%	17.6%	17.5%	17.6%	15.5%	16.6%	20.2%	16.8%	18.2%	17.3%	18.2%
取組3	18.3% (20.1%)	23.3%	13.6%	19.3%	16.1%	21.2%	16.3%	14.0%	16.1%	19.6%	15.8%	16.8%	21.5%	24.4%
取組4	18.3% (18.7%)	22.8%	13.9%	18.6%	17.7%	19.2%	17.8%	15.5%	17.8%	22.0%	16.3%	17.9%	20.0%	19.0%

図 1 3 特に優先すべきと思う施策 (県全体・地域別)



※「割合(%)」は複数回答のため、回答数累計に占める各施策の回答数の割合です。また、括弧内は前回調査の割合です。

(5) 分野5 公共土木施設

取組	施策
1 道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進	1 高規格幹線道路等の整備 2 主要幹線となる国道、県道の整備及び復興まちづくりと一体となった関連道路の整備 3 橋梁等の耐震化・長寿命化 4 港湾機能の拡充と利用促進 5 仙台空港の利用促進
2 海岸、河川などの県土保全	6 海岸の整備 7 河川の整備 8 土砂災害対策の推進 9 貞山運河再生・復興ビジョンに基づく運河の復旧・復興
3 上下水道などのライフラインの整備	10 下水道の整備 11 広域水道、工業用水道の整備
4 沿岸市町をはじめとするまちの再構築	12 まちづくりと多様な施策との連携

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組2 (76.4%)」で、次いで「取組1 (74.7%)」、「取組3 (73.9%)」、「取組4 (72.5%)」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組3」が4.8ポイント(78.7%→73.9%)減少するなど、全ての取組で減少しています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組3 (45.1%)」で、次いで「取組1 (42.4%)」、「取組2 (38.7%)」、「取組4 (37.2%)」の順となっています。
- 「満足群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組4」が0.1ポイント(37.1%→37.2%)増加、「取組3」が3.9ポイント(49.0%→45.1%)、「取組1」が0.6ポイント(43.0%→42.4%)、「取組2」が0.3ポイント(39.0%→38.7%)減少しています。
- 県全体で、「不満群割合」が最も高かったのは、「取組2 (28.2%)」で、次いで「取組4 (24.9%)」、「取組1 (24.5%)」、「取組3 (16.4%)」の順となっています。
- 「不満群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組2」が0.5ポイント(27.7%→28.2%)増加、「取組4」が3.2ポイント(28.1%→24.9%)、「取組1」が1.3ポイント(25.8%→24.5%)、「取組3」が0.5ポイント(16.9%→16.4%)減少しています。

【特に優先すべきと思う施策】

- 県全体で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、「施策2 (15.3%)」で、次いで「施策10 (12.0%)」、「施策8 (11.1%)」の順となっています。

図 14 重視度割合 (県全体)

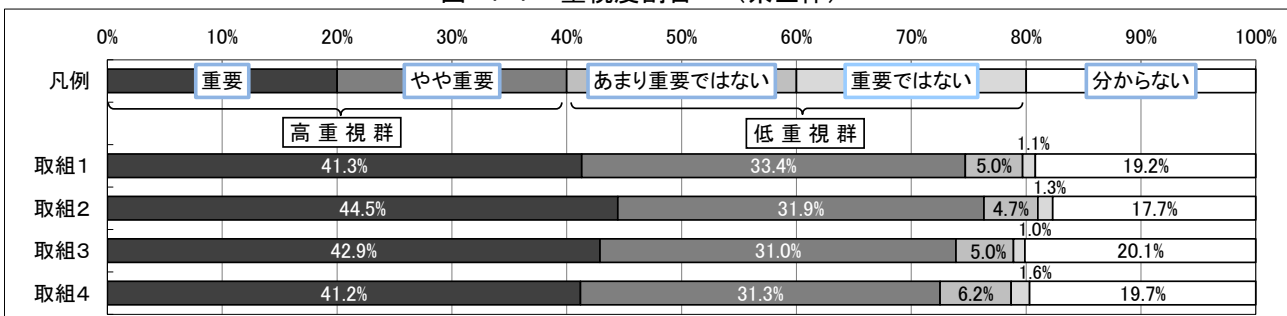


表 14 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	74.7% (78.3%)	80.7%	69.0%	74.2%	75.9%	76.0%	74.2%	72.6%	76.6%	72.4%	73.0%	76.8%	73.5%	79.9%
取組2	76.4% (77.9%)	80.1%	73.1%	76.2%	76.9%	77.8%	75.9%	77.2%	79.0%	74.4%	73.7%	76.8%	79.3%	76.7%
取組3	73.9% (78.7%)	76.7%	71.5%	71.5%	79.0%	75.6%	72.7%	74.9%	75.4%	68.9%	69.8%	76.0%	81.3%	71.2%
取組4	72.5% (76.0%)	74.8%	70.4%	70.8%	76.0%	75.8%	70.7%	71.6%	72.6%	68.0%	71.8%	70.9%	77.5%	77.6%

図 15 満足度割合 (県全体)

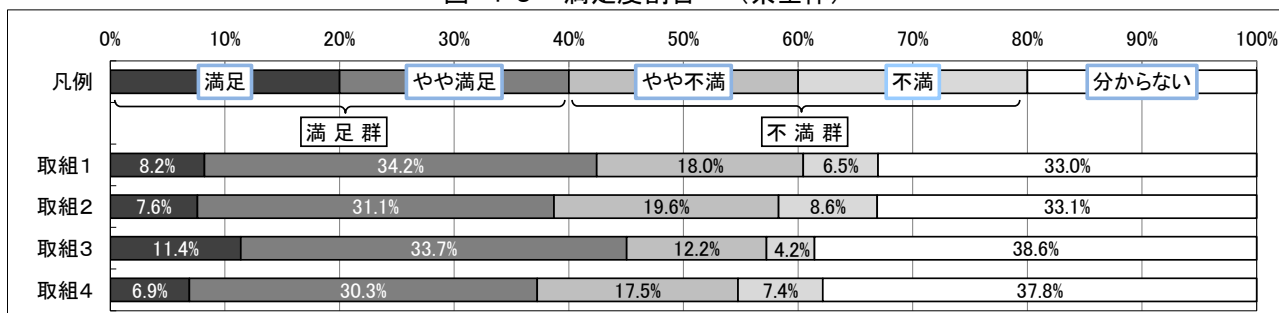


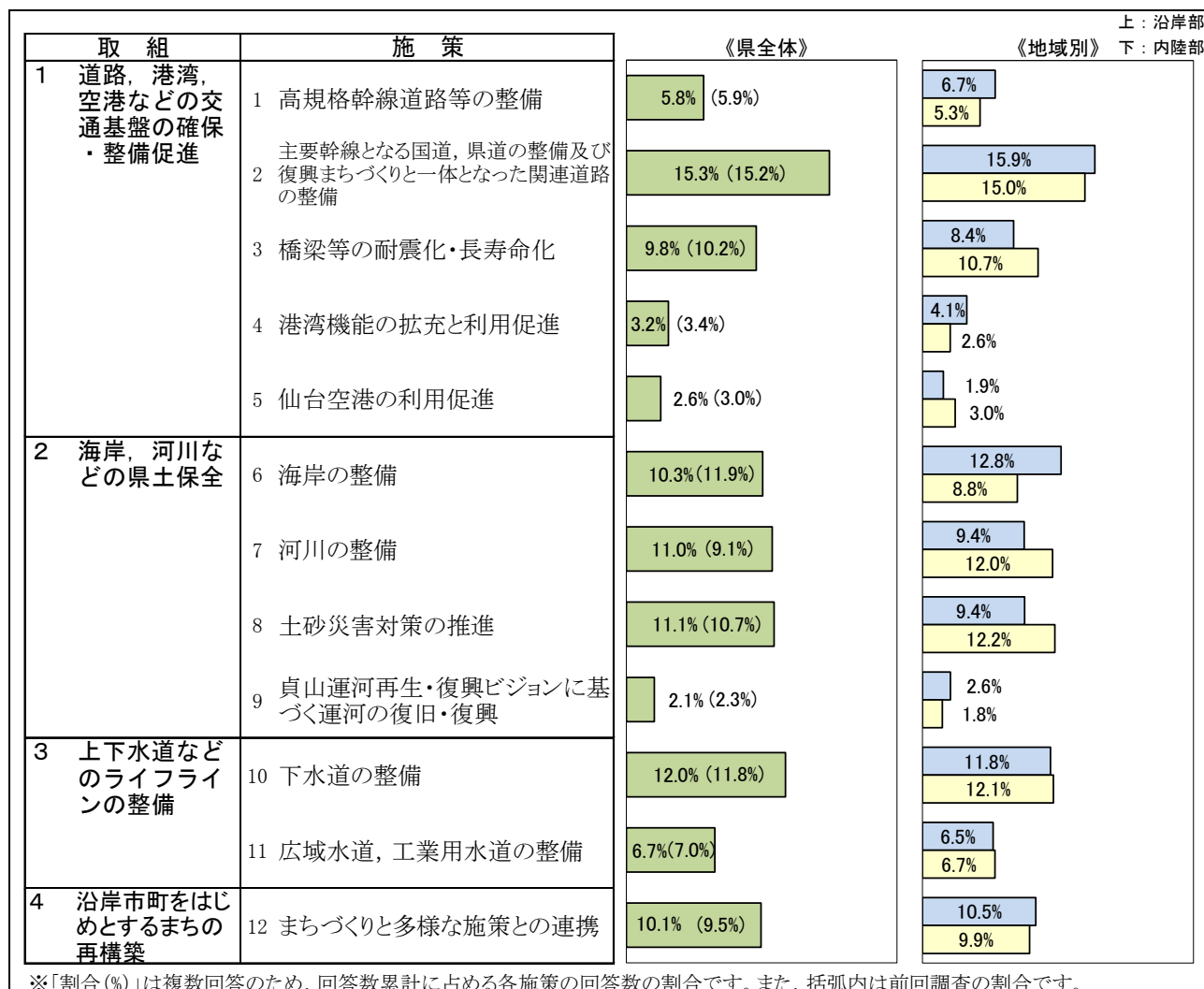
表 15 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	42.4% (43.0%)	43.7%	41.1%	40.0%	47.4%	40.7%	43.6%	44.1%	41.6%	37.8%	45.0%	47.9%	41.7%	38.7%
取組2	38.7% (39.0%)	38.4%	38.8%	35.1%	45.8%	37.8%	39.3%	40.8%	37.0%	37.5%	40.3%	38.6%	44.7%	31.4%
取組3	45.1% (49.0%)	46.2%	44.1%	40.1%	55.5%	45.7%	44.3%	50.1%	49.2%	35.6%	43.5%	48.3%	49.3%	37.2%
取組4	37.2% (37.1%)	36.2%	38.0%	32.6%	46.5%	35.4%	38.2%	42.0%	30.2%	34.5%	39.5%	38.2%	38.1%	36.9%

表 16 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	24.5% (25.8%)	31.6%	17.9%	26.1%	21.3%	29.5%	21.5%	16.9%	26.6%	23.2%	21.3%	23.7%	28.5%	32.9%
取組2	28.2% (27.7%)	35.7%	21.2%	29.6%	25.4%	31.9%	26.2%	21.9%	26.9%	28.5%	24.8%	28.6%	29.4%	39.9%
取組3	16.4% (16.9%)	20.6%	12.4%	16.9%	15.1%	17.5%	15.9%	12.3%	12.6%	20.2%	17.8%	13.2%	20.8%	19.1%
取組4	24.9% (28.1%)	31.9%	18.6%	26.8%	21.2%	30.5%	21.6%	13.7%	25.6%	24.8%	22.5%	24.8%	33.5%	31.5%

図 16 特に優先すべきと思う施策 (県全体・地域別)



(6) 分野6 教育

取組	施策
1 安全・安心な学校教育の確保	1 地域や時代のニーズに応じた安全で質の高い教育環境の整備 2 被災児童生徒等への就学支援 3 児童生徒等の心のケア 4 防災教育の充実 5 「志教育」の推進
2 家庭・地域の教育力の再構築	6 地域全体で子どもを育てる体制の整備 7 地域と連携した学校安全の確保と防災を通じた連携・交流の促進
3 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実	8 社会教育・社会体育施設の復旧と生涯学習・スポーツ活動の推進 9 被災文化財の修理・修復と地域文化の振興

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組1 (75.6%)」で、次いで「取組2 (70.2%)」、「取組3 (53.5%)」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組2」が 5.4 ポイント (75.6%→70.2%) 減少するなど、全ての取組で減少しています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組1 (40.1%)」で、次いで「取組2 (37.7%)」、「取組3 (32.1%)」の順となっています。
- 「満足群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組2」が 6.0 ポイント (43.7%→37.7%) 減少するなど、全ての取組で減少しています。
- 県全体で、「不満群割合」が最も高かったのは、「取組1 (20.9%)」で、次いで「取組2 (19.1%)」、「取組3 (17.7%)」の順となっています。
- 「不満群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組1」が 3.0 ポイント (17.9%→20.9%) 増加するなど、全ての取組で増加しています。

【特に優先すべきと思う施策】

- 県全体で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、「施策7 (14.5%)」で、次いで「施策4 (13.1%)」及び「施策8 (13.1%)」の順となっています。

図 17 重視度割合 (県全体)

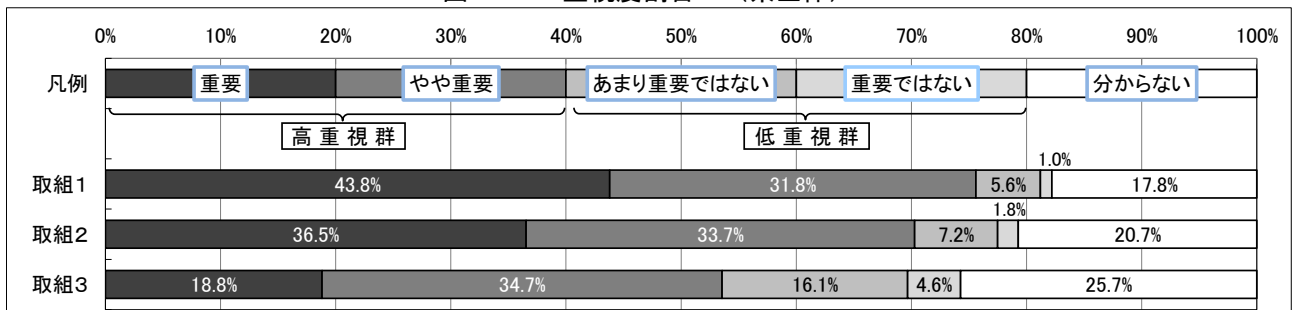


表 17 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	75.6% (79.5%)	75.5%	75.8%	74.1%	78.9%	74.8%	76.4%	77.4%	73.9%	72.6%	76.4%	79.3%	73.9%	76.9%
取組2	70.2% (75.6%)	68.9%	71.6%	69.2%	72.8%	71.1%	70.1%	69.3%	70.7%	69.1%	69.2%	71.5%	71.4%	72.3%
取組3	53.5% (57.9%)	52.0%	55.1%	50.9%	59.1%	52.7%	54.5%	55.5%	53.8%	51.0%	54.7%	56.6%	53.3%	51.5%

図 18 満足度割合 (県全体)

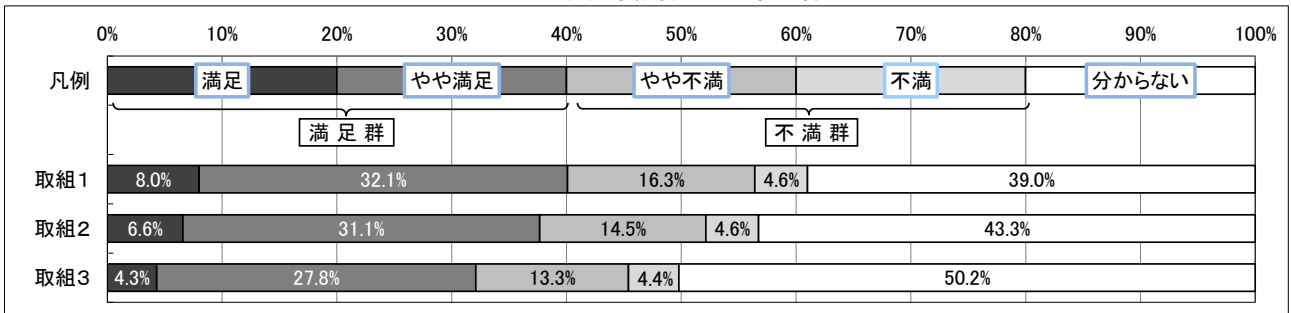


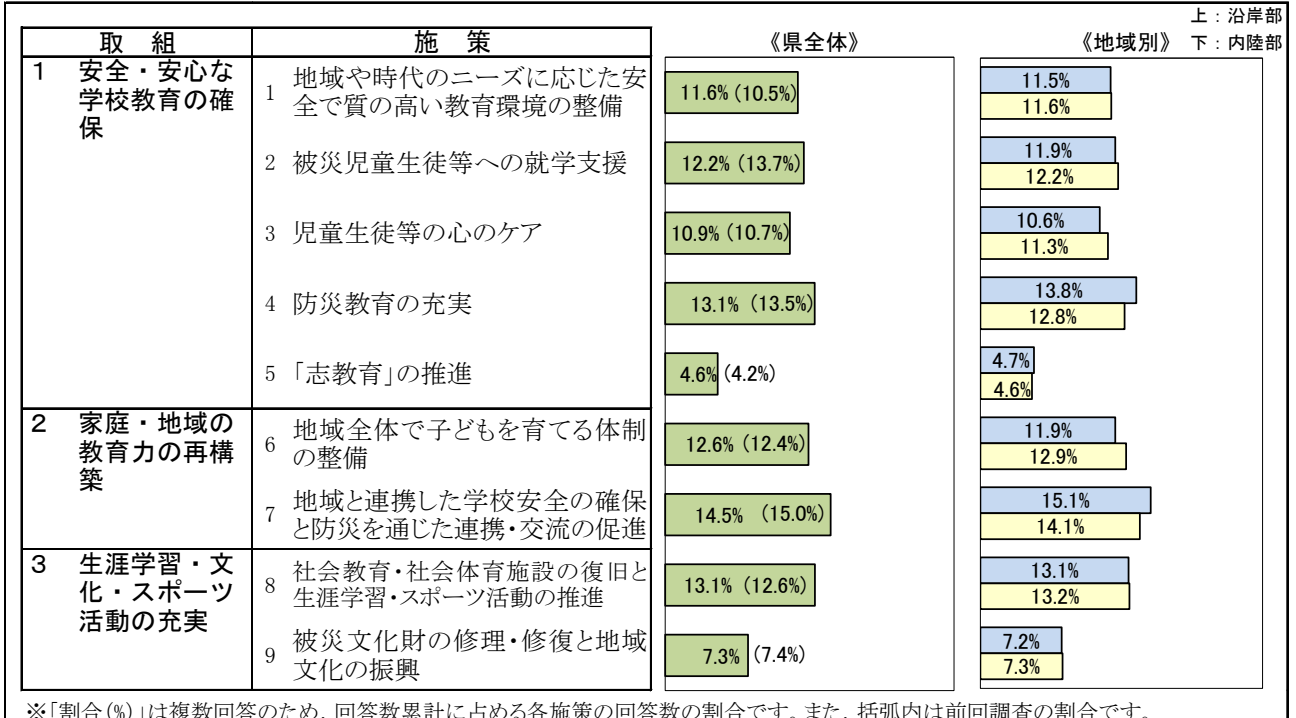
表 18 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	40.1% (45.9%)	36.6%	43.5%	35.7%	49.4%	39.6%	40.8%	42.8%	36.8%	33.8%	42.1%	44.4%	40.0%	42.0%
取組2	37.7% (43.7%)	34.5%	40.6%	34.0%	45.3%	38.4%	37.2%	36.9%	34.6%	33.0%	38.9%	39.5%	39.8%	41.3%
取組3	32.1% (35.3%)	30.6%	33.4%	27.9%	40.8%	30.8%	33.4%	33.2%	29.3%	27.9%	35.6%	37.1%	33.9%	29.2%

表 19 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	20.9% (17.9%)	24.4%	17.3%	23.0%	16.0%	22.6%	19.8%	17.1%	23.4%	24.3%	18.3%	19.4%	22.5%	21.2%
取組2	19.1% (17.8%)	21.8%	16.3%	20.3%	16.3%	19.0%	19.3%	16.3%	20.8%	22.3%	19.1%	19.8%	19.2%	16.5%
取組3	17.7% (16.2%)	22.1%	13.5%	18.7%	15.5%	19.4%	16.5%	13.1%	18.5%	20.7%	17.0%	15.2%	21.5%	18.2%

図 19 特に優先すべきと思う施策 (県全体・地域別)



(7) 分野7 防災・安全・安心

取組	施策
1 防災機能の再構築	1 被災市町村の職員確保等に対する支援 2 防災体制の再整備等 3 原子力防災体制等の再構築 4 災害時の医療体制の確保 5 教育施設における地域防災拠点機能の強化
2 大津波等への備え	6 津波避難計画の整備等 7 震災記録の作成と防災意識の醸成
3 自助・共助による市民レベルの防災体制の強化	8 地域防災リーダーの養成等 9 地域主動型応急危険度判定等実施体制の整備
4 安全・安心な地域社会の構築	10 警察施設等の機能回復及び機能強化 11 交通安全施設等の機能回復及び機能強化と交通事故の抑止 12 防犯・防災に配慮した安全・安心な地域社会の構築

調査結果の概要

【重視度】

- 県全体で、「高重視群割合」が最も高かったのは、「取組1 (77.8%)」で、次いで「取組2 (75.0%)」、「取組4 (70.0%)」、「取組3 (67.4%)」の順となっています。
- 「高重視群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組3」が 8.1 ポイント (75.5%→67.4%) 減少するなど、全ての取組で減少しています。

【満足度】

- 県全体で、「満足群割合」が最も高かったのは、「取組2 (46.9%)」で、次いで「取組1 (41.3%)」、「取組4 (39.9%)」、「取組3 (36.7%)」の順となっています。
- 「満足群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組3」が 4.4 ポイント (41.1%→36.7%) 減少するなど、全ての取組で減少しています。
- 県全体で、「不満群割合」が最も高かったのは、「取組1 (24.5%)」で、次いで「取組2 (18.8%)」、「取組3 (18.7%)」、「取組4 (18.5%)」の順となっています。
- 「不満群割合」について、県全体の前回調査との差異を見てみると、「取組3」が 0.3 ポイント (18.4%→18.7%)、「取組2」が 0.2 ポイント (18.6%→18.8%) 増加、「取組1」が 1.0 ポイント (25.5%→24.5%) 減少しています。

【特に優先すべきと思う施策】

- 県全体で、「特に優先すべきと思う施策」の割合が最も高かったのは、「施策12 (15.5%)」で、次いで「施策4 (13.8%)」、「施策6 (12.4%)」の順となっています。

図 20 重視度割合 (県全体)

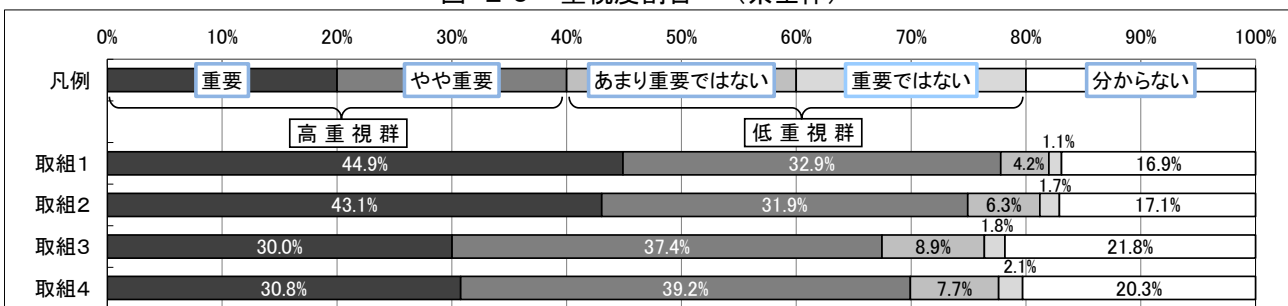


表 20 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	77.8% (80.0%)	81.5%	74.5%	76.4%	80.6%	78.4%	77.7%	74.6%	77.3%	78.8%	77.2%	79.3%	81.2%	77.7%
取組2	75.0% (82.2%)	76.0%	73.9%	74.1%	76.6%	78.0%	73.1%	72.7%	79.6%	71.9%	73.8%	73.4%	80.2%	74.4%
取組3	67.4% (75.5%)	66.8%	68.2%	64.7%	73.4%	66.3%	68.1%	67.6%	65.7%	67.5%	69.0%	67.1%	66.4%	68.7%
取組4	70.0% (74.7%)	69.4%	70.5%	67.6%	74.8%	69.7%	70.3%	70.2%	71.3%	65.9%	72.8%	71.9%	72.9%	65.4%

図 2 1 満足度割合 (県全体)

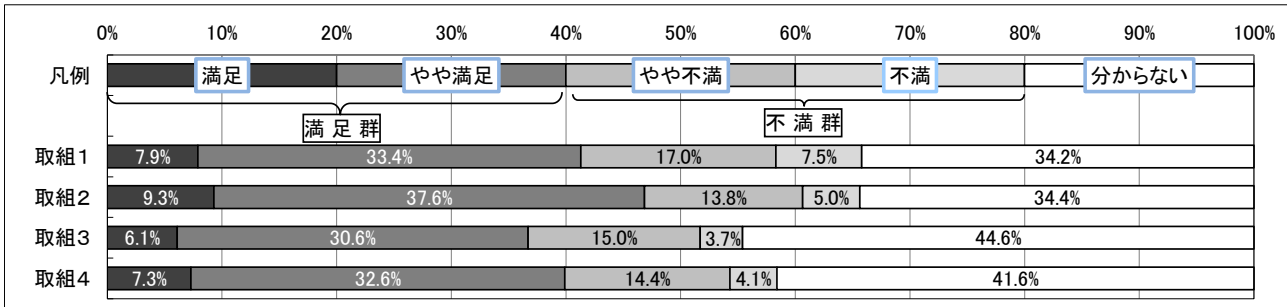


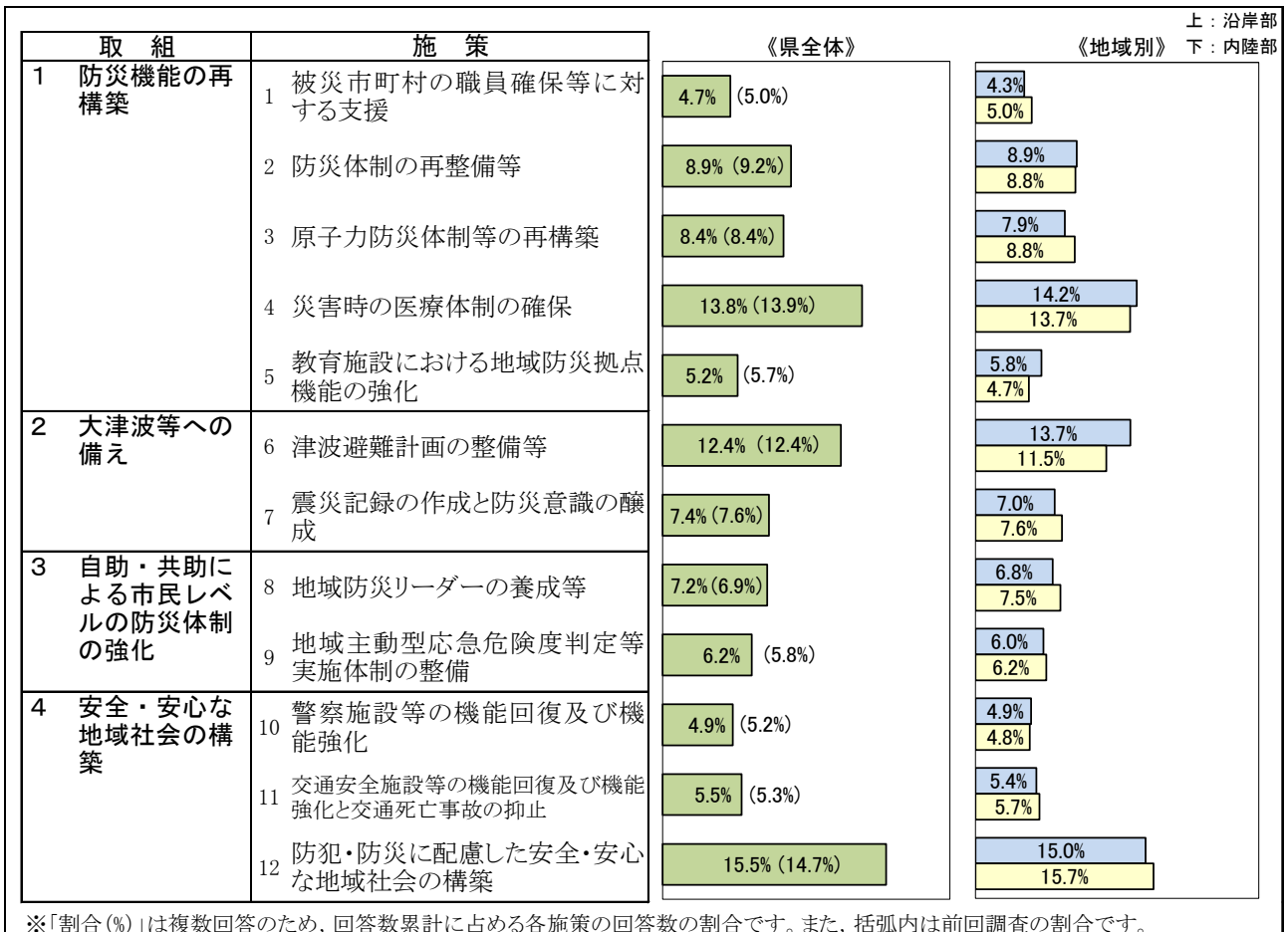
表 2 1 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	41.3% (42.1%)	41.4%	41.2%	37.2%	49.9%	39.5%	42.7%	43.6%	33.9%	38.1%	43.4%	47.5%	44.0%	39.8%
取組2	46.9% (48.9%)	44.8%	48.6%	43.9%	52.8%	48.5%	45.6%	45.1%	46.6%	43.6%	42.6%	50.7%	56.3%	42.6%
取組3	36.7% (41.1%)	35.5%	37.9%	32.5%	45.5%	35.1%	37.6%	34.9%	31.1%	32.6%	41.7%	41.2%	39.4%	35.3%
取組4	39.9% (42.3%)	39.1%	40.5%	35.2%	49.2%	40.1%	39.6%	39.1%	36.5%	33.6%	43.0%	43.3%	43.4%	39.1%

表 2 2 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体(前回)	性別		年代別		地域別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	沿岸部	内陸部	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組1	24.5% (25.5%)	29.2%	20.0%	24.7%	24.0%	24.5%	24.6%	22.3%	31.3%	28.6%	23.3%	22.8%	22.8%	20.4%
取組2	18.8% (18.6%)	23.5%	14.3%	19.5%	17.1%	20.9%	17.6%	20.8%	20.8%	20.2%	20.0%	15.8%	20.0%	20.4%
取組3	18.7% (18.4%)	22.4%	15.1%	18.4%	19.0%	20.1%	17.9%	13.6%	19.3%	21.7%	18.2%	18.8%	20.0%	19.6%
取組4	18.5% (18.5%)	23.2%	14.1%	19.0%	17.3%	19.3%	18.0%	14.3%	21.9%	23.9%	16.5%	17.1%	17.4%	18.4%

図 2 2 特に優先すべきと思う施策 (県全体・地域別)



3 テーマ別項目

テーマ別項目として、「東日本大震災の記憶の風化について」、「廃棄物等の3Rと適正処理について」及び「宮城の食について」を調査したところ次のような結果となりました。

(1) 東日本大震災の記憶の風化について

調査結果の概要

【東日本大震災の記憶の風化の実感】

- 県全体で、東日本大震災の記憶の風化が進んでいるかについて、「進んでいると感じる（23.8%）」又は「やや進んでいると感じる（48.7%）」と回答している割合の合計は、72.5%となっています。
- 県全体で、東日本大震災の記憶の風化が進んでいるかについて、「あまり進んでいないと感じる（13.8%）」又は「進んでいないと感じる（6.0%）」と回答している割合の合計は、19.8%となっています。

【東日本大震災の記憶の風化が進んでいると感じる時】

- 県全体で、東日本大震災の記憶の風化の状況について「進んでいると感じる」又は「やや進んでいると感じる」の回答のうち、「東日本大震災の記憶の風化が進んでいると感じる時」の割合が最も高かったのは、「新聞やテレビなどでの取り上げ方（30.2%）」で、次いで「自分自身の意識（28.0%）」、「ボランティアなど被災地への支援の減少（14.2%）」の順となっています。

【東日本大震災の記憶の風化防止のために強化すべき取組】

- 県全体で、「東日本大震災の記憶の風化防止のために強化すべき取組」の割合が最も高かったのは、「広報誌などの印刷物の発行（22.6%）」で、次いで「全国公共施設、JR駅等でのポスター掲示（20.5%）」、「県外でのイベントの開催（16.6%）」の順となっています。

図 23 東日本大震災の記憶の風化の実感（県全体）

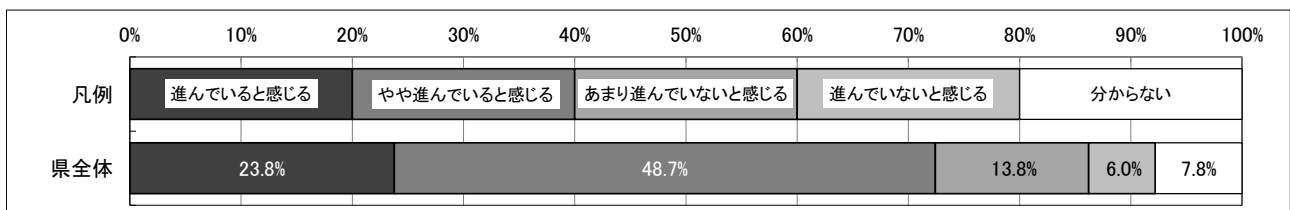


図 24 東日本大震災の記憶の風化が進んでいると感じる時（県全体・地域別）

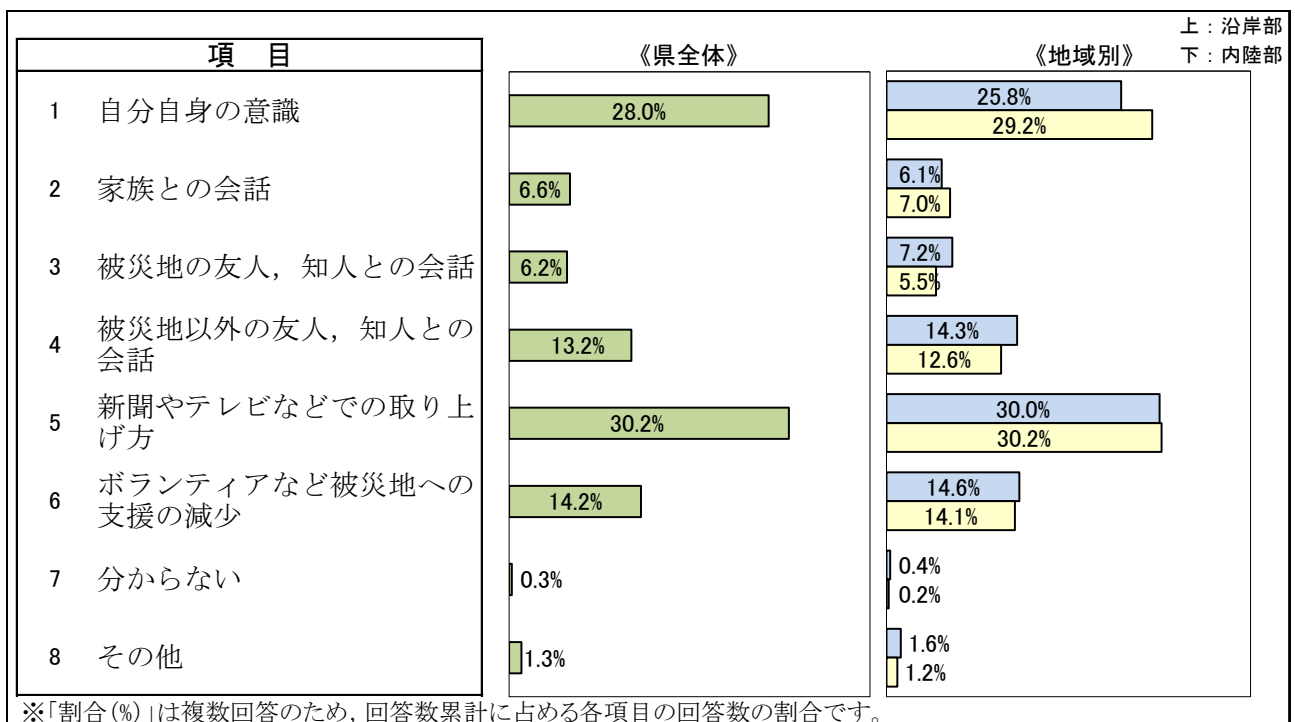
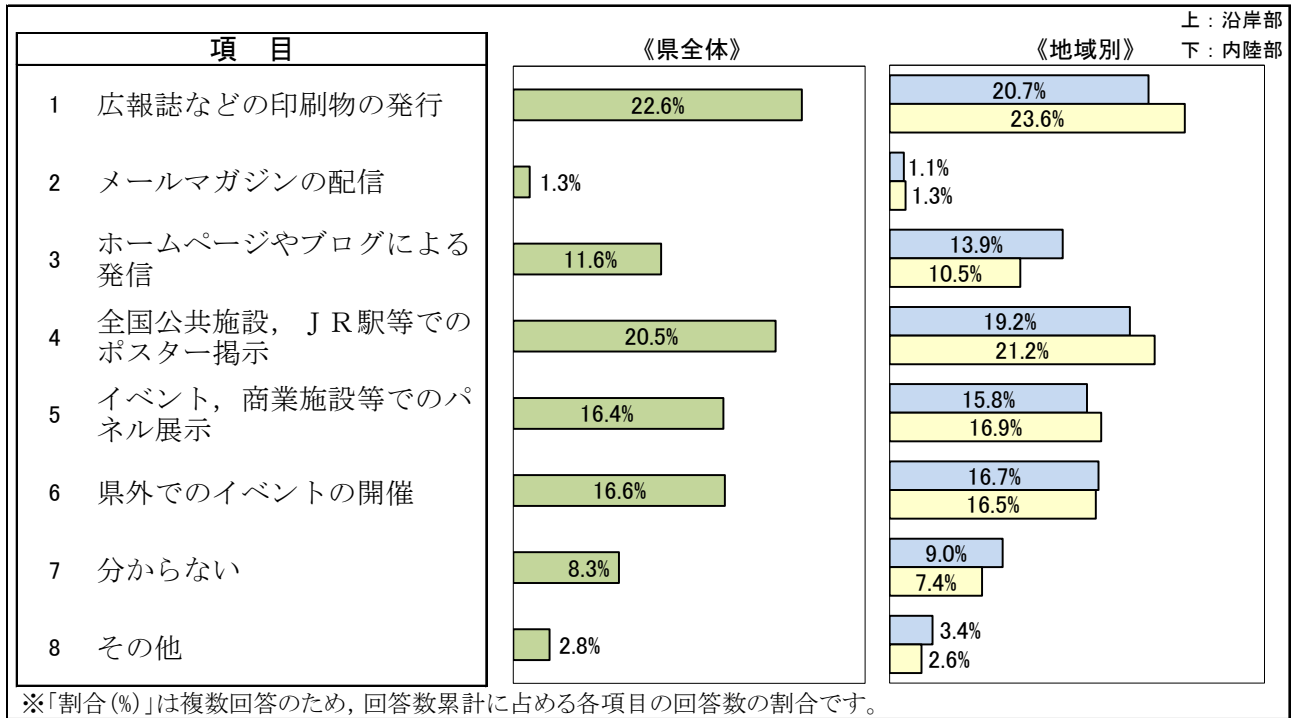


図 25 東日本大震災の記憶の風化防止のために強化すべき取組 (県全体・地域別)



(2) 廃棄物等の3Rと適正処理について

調査結果の概要

【ごみの分別について】

- 県全体で、ごみの分別について「いつもしている (83.4%)」又は「時々している (13.6%)」と回答している割合の合計は、97.0%となっています。
- 県全体で、ごみの分別について「あまりしていない (1.7%)」又は「全くしていない (0.4%)」と回答している割合の合計は、2.1%となっています。

【ごみの分別をしない原因】

- 県全体で、ごみの分別について「あまりしていない」又は「全くしていない」の回答のうち、「ごみの分別をしない原因」の割合が最も高かったのは、「分別方法が分からないから(24.0%)」で、次いで「その他(22.0%)」、「分別する手間が面倒だから (16.0%)」及び「分別したごみの収集回数が少ないから (16.0%)」の順となっています。

【3Rに関する取組として日常生活の中で行っていること】

- 県全体で、「3Rに関する取組として日常生活の中で行っていること」の割合が最も高かったのは、「ごみは地域で指定された方法で出している (32.9%)」で、次いで「買い物に行く時はマイバッグを持参し、不要なレジ袋をもらわない(28.7%)」、「古紙などは子供会の集団資源回収や店舗での資源回収に出す(19.2%)」の順となっています。

【地域で行われている3Rに係る環境保全活動への参加】

- 県全体で、地域で行われている3Rに係る環境保全活動への参加について「よく参加している (12.8%)」又は「時々参加している (24.4%)」と回答している割合の合計は、37.2%となっています。
- 県全体で、地域で行われている3Rに係る環境保全活動への参加について「あまり参加していない(24.8%)」又は「全く参加していない (22.1%)」と回答している割合の合計は、46.9%となっています。

【ごみの不法投棄の最近の状況】

- 県全体で、「ごみの不法投棄の最近の状況について」の割合が最も高かったのは、「以前より減ってきていると感じる (42.8%)」で、次いで「分からない (22.4%)」、「以前と変わらず多いと感じる (18.7%)」の順となっています。

図 26 ごみの分別について (県全体)

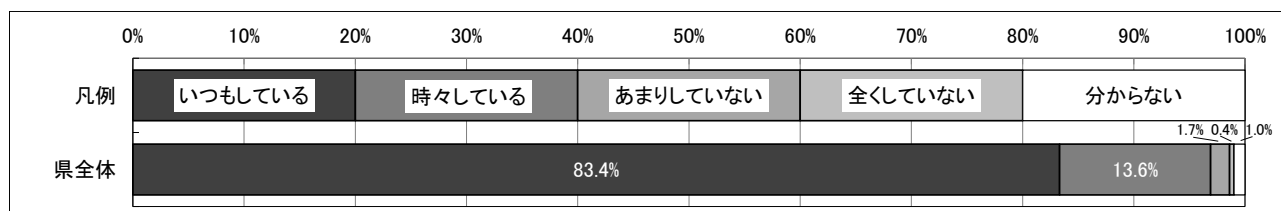


図 27 ごみの分別をしない原因 (県全体)

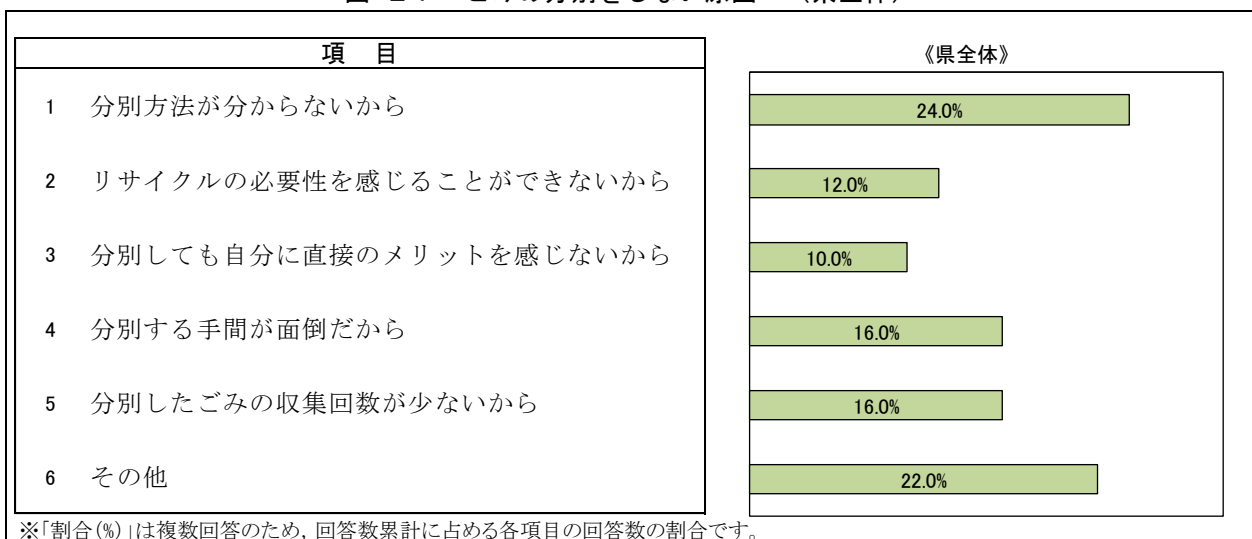


図 28 3Rに関する取組として日常生活の中で行っていること (県全体)

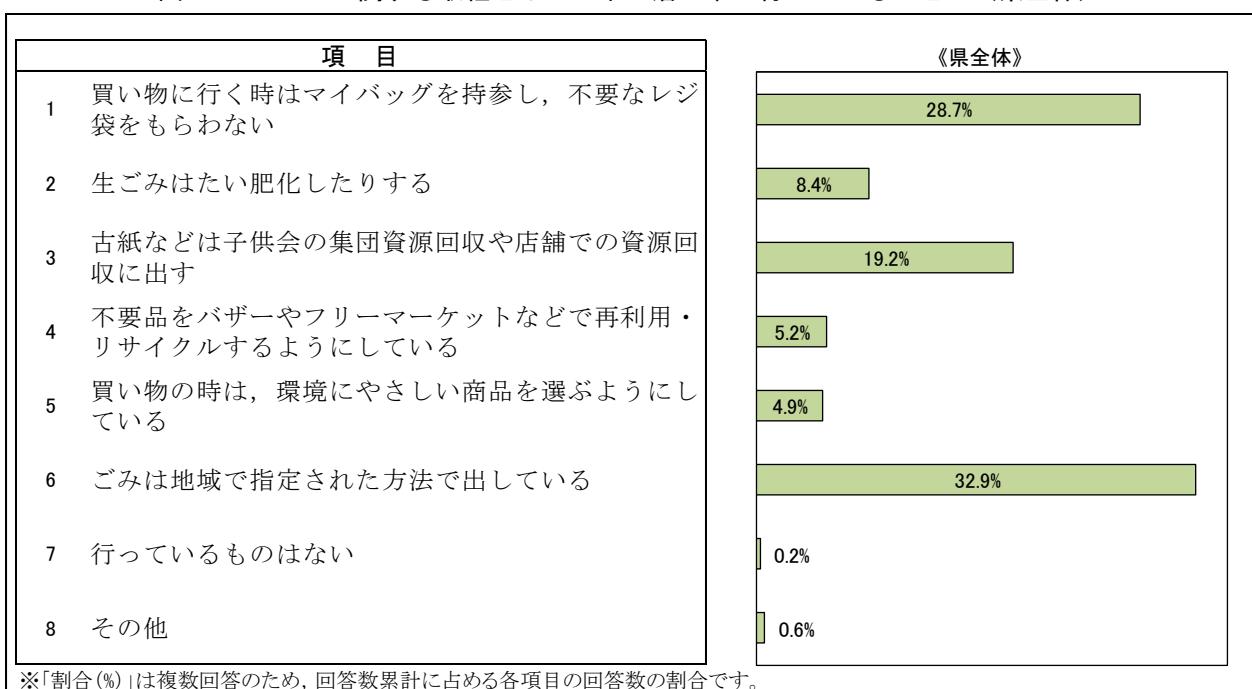


図 29 地域で行われている3Rに係る環境保全活動への参加 (県全体)

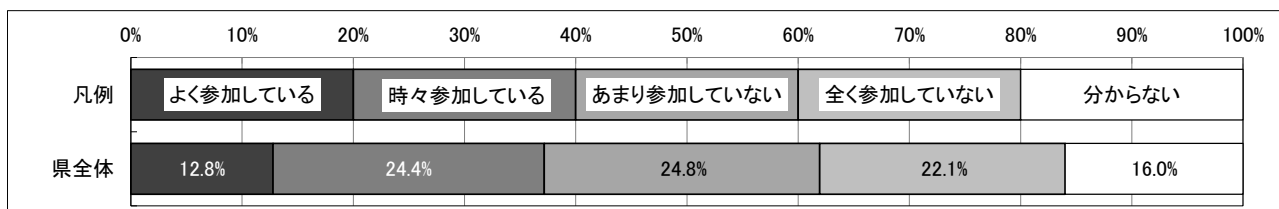
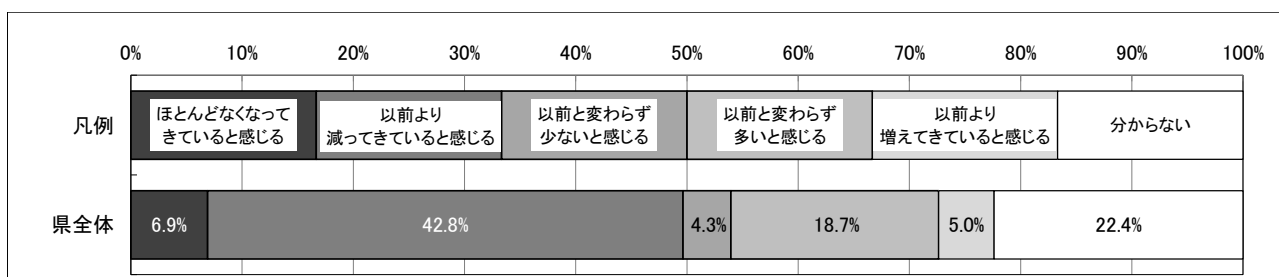


図 30 ごみの不法投棄の最近の状況 (県全体)



(3) 宮城の食について

調査結果の概要

【宮城県産の食品（食材）の購入】

- 県全体で、宮城県産の食品（食材）の購入について「購入している（28.5%）」又は「どちらかといえば購入している（40.6%）」と回答している割合の合計は、69.1%となっています。
- 県全体で、宮城県産の食品（食材）の購入について「どちらかといえば購入していない（3.4%）」又は「購入していない（1.6%）」と回答している割合の合計は、5.0%となっています。

【宮城県産の食品（食材）を購入している理由】

- 県全体で、宮城県産の食品（食材）について「購入している」又は「どちらかといえば購入している」の回答のうち、「宮城県産の食品（食材）を購入している理由」の割合が最も高かったのは、「新鮮だから（30.7%）」で、次いで「生産者が身近に感じられるから（28.4%）」、「安全だから（15.1%）」の順となっています。

【宮城県産の食品（食材）を購入していない理由】

- 県全体で、宮城県産の食品（食材）について「どちらかといえば購入していない」又は「購入していない」の回答のうち、「宮城県産の食品（食材）を購入していない理由」の割合が最も高かったのは、「その他（31.3%）」で、次いで「値段が高いから（22.9%）」、「原発事故の影響が心配だから（20.5%）」の順となっています。

【「みやぎ水産の日」について】

- 県全体で、「みやぎ水産の日」について回答している割合は、「知っている（14.1%）」、「知らない（85.9%）」となっています。

【「みやぎ水産の日」を知ったきっかけ】

- 県全体で、「みやぎ水産の日」について「知っている」の回答のうち、「みやぎ水産の日」を知ったきっかけの割合が最も高かったのは、「新聞やテレビなどのマスメディア（44.1%）」で、次いで「量販店などの生鮮食品売り場（30.0%）」、「宮城県のホームページ（9.1%）」の順となっています。

図 3 1 宮城県産の食品（食材）の購入（県全体）

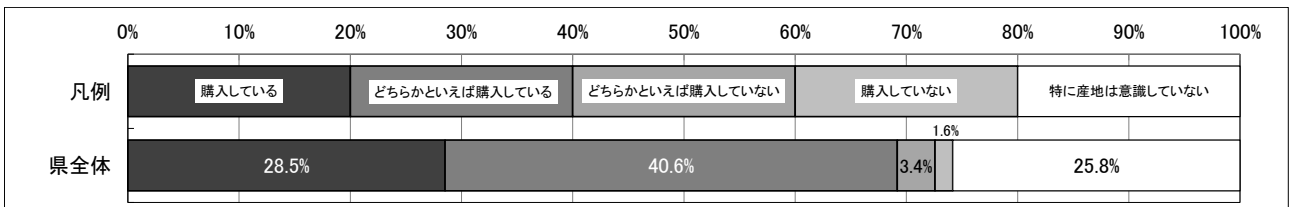
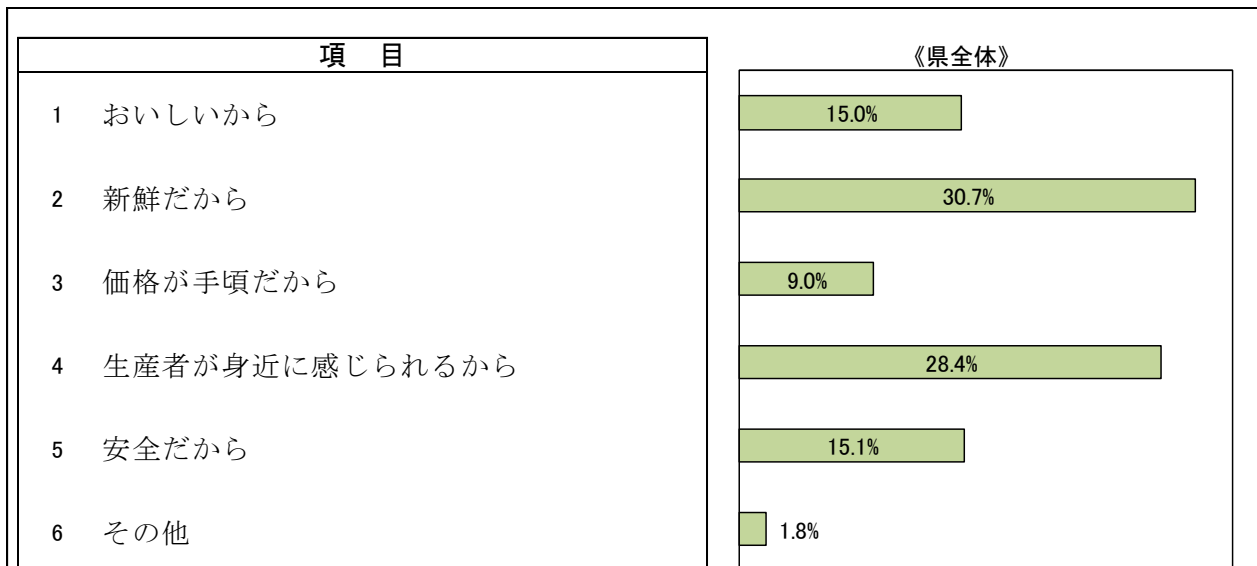


図 3 2 宮城県産の食品（食材）を購入している理由（県全体）



※「割合(%)」は複数回答のため、回答数累計に占める各項目の回答数の割合です。

図 3 3 宮城県産の食品（食材）を購入していない理由（県全体）

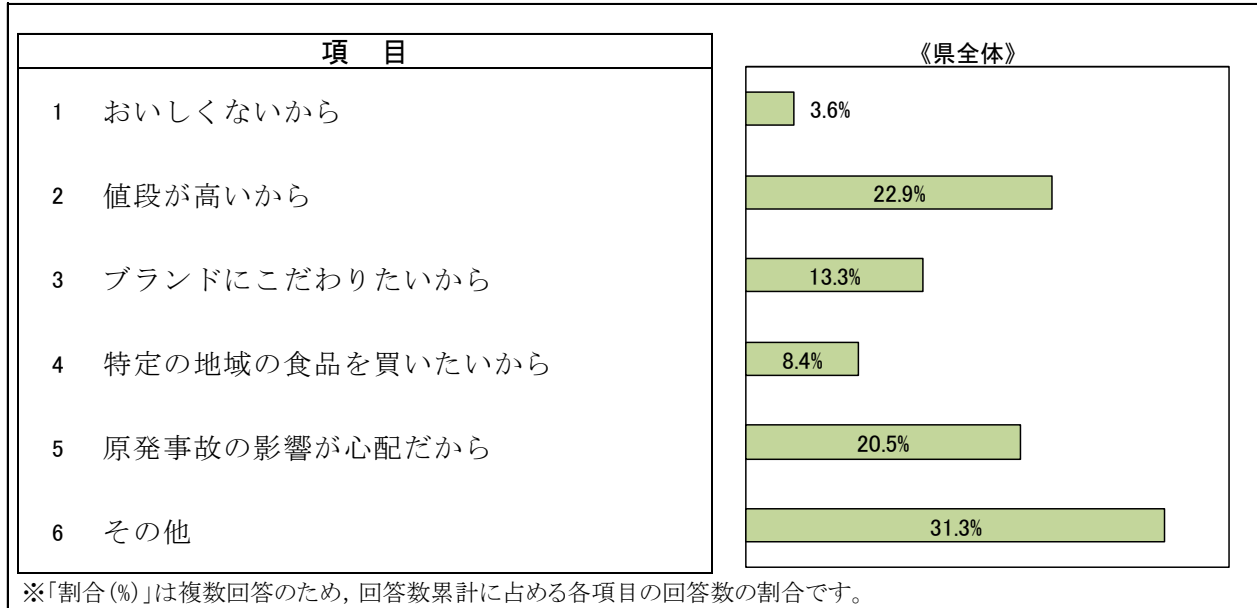


図 3 4 「みやぎ水産の日」について（県全体）

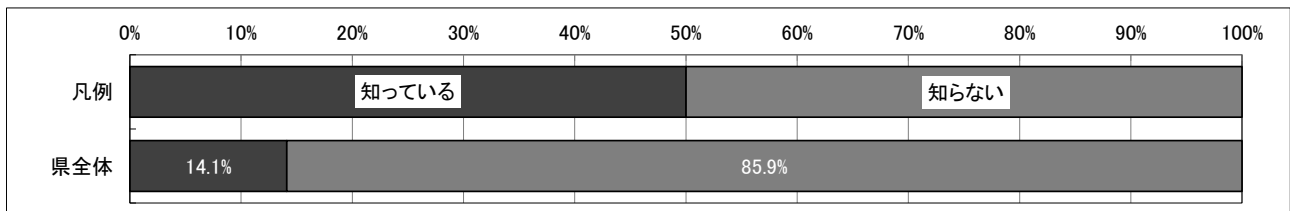
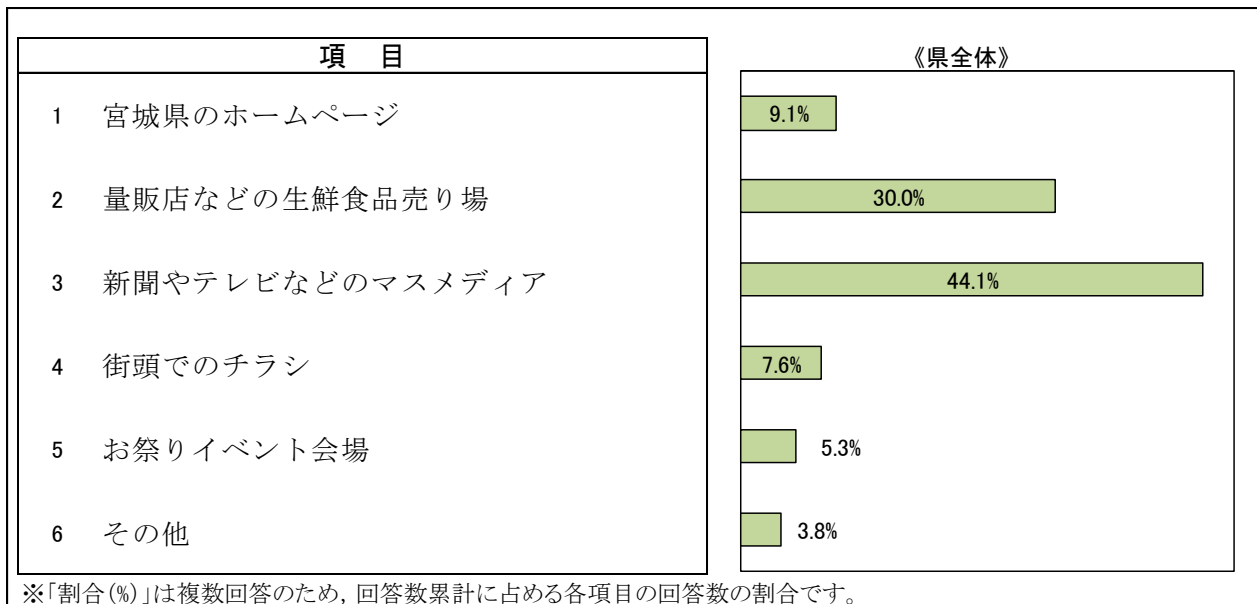


図 3 5 「みやぎ水産の日」を知ったきっかけ（県全体）



III 参考資料

1 回答者属性一覧

区 分		実数(人)	構成比(%)
回答者数(県全体)		1,911	100.0
性別	男性	921	48.4
	女性	981	51.6
年代	20歳代	152	8.0
	30歳代	212	11.1
	40歳代	277	14.6
	50歳代	332	17.5
	60～64歳	256	13.5
	65歳以上	673	35.4
	居住地(地域)	沿岸部	719
内陸部		1,142	61.4
居住地(圏域)	仙南圏域	268	14.4
	仙台圏域	249	13.4
	大崎圏域	268	14.4
	栗原圏域	291	15.6
	登米圏域	284	15.3
	石巻圏域	254	13.6
	気仙沼・本吉圏域	247	13.3
	職業	自営業主・家族従業者	263
被用者		889	47.2
企業役員・団体代表等		45	2.4
専業主婦(主夫)		261	13.9
学生		16	0.8
無職		386	20.5
その他		23	1.2
業種別		農業, 林業	146
	漁業	25	2.1
	鉱業, 採石業, 砂利採取業	3	0.3
	建設業	97	8.3
	製造業	212	18.2
	電気・ガス・熱供給・水道業	29	2.5
	情報通信業	8	0.7
	運輸業, 郵便業	53	4.5
	卸売業, 小売業	104	8.9
	金融業, 保険業	26	2.2
	不動産業, 物品賃貸業	6	0.5
	学術研究, 専門・技術サービス業	29	2.5
	宿泊業, 飲食サービス業	48	4.1
	教育, 学習支援業	51	4.4
	医療・福祉	124	10.6
	その他のサービス業	140	12.0
	公務	36	3.1
	その他	30	2.6

※各属性には不明分があるため、属性ごとの実数の合計と全体の合計は一致しません。

2 宮城県震災復興計画（各取組の「高重視群」,「満足群」,「不満群」の概要）

宮城県震災復興計画の体系に基づく取組
1-1 被災者の生活環境の確保
1-2 廃棄物の適正処理
1-3 持続可能な社会と環境保全の実現
2-1 安心できる地域医療の確保
2-2 未来を担う子どもたちへの支援
2-3 だれもが住みよい地域社会の構築
3-1 ものづくり産業の復興
3-2 商業・観光の再生
3-3 雇用の維持・確保
4-1 魅力ある農業・農村の再興
4-2 活力ある林業の再生
4-3 新たな水産業の創造
4-4 一次産業を牽引する食産業の振興
5-1 道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進
5-2 海岸、河川などの県土保全
5-3 上下水道などのライフラインの整備
5-4 沿岸市町をはじめとするまちの再構築
6-1 安全・安心な学校教育の確保
6-2 家庭・地域の教育力の再構築
6-3 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実
7-1 防災機能の再構築
7-2 大津波等への備え
7-3 自助・共助による市民レベルの防災体制の強化
7-4 安全・安心な地域社会の構築

高重視群											
県全体				沿岸部				内陸部			
割合		順位		割合		順位		割合		順位	
今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
63.7	70.8	18	16	63.9	69.6	18	16	63.8	71.5	19	15
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
64.7	68.0	16	18	64.0	65.1	16	20	65.5	70.3	15	17
74.5	77.5	8	8	75.4	76.2	9	9	74.3	78.5	⑤	6
80.9	84.2	①	①	81.3	83.5	①	②	81.2	85.0	①	①
75.1	77.2	⑤	9	77.0	75.3	⑤	10	74.0	78.4	7	7
63.8	67.8	17	19	64.0	68.5	16	17	64.1	67.4	17	20
62.9	68.3	19	17	61.3	65.3	20	19	64.4	70.0	16	18
67.1	73.0	14	14	67.8	74.0	14	14	67.2	72.4	14	14
60.6	67.6	21	20	57.9	65.5	21	18	62.5	69.0	20	19
51.5	58.9	23	22	49.5	58.9	23	22	53.1	59.0	23	23
65.6	71.3	15	15	68.3	71.5	13	15	63.9	71.4	18	16
61.5	64.5	20	21	62.2	64.6	19	21	61.3	64.2	21	21
74.7	78.3	7	6	76.0	80.1	6	③	74.2	77.4	6	8
76.4	77.9	③	7	77.8	79.9	④	④	75.9	77.0	④	9
73.9	78.7	9	⑤	75.6	79.0	8	6	72.7	78.6	9	⑤
72.5	76.0	10	10	75.8	77.7	7	8	70.7	75.1	10	13
75.6	79.5	④	④	74.8	77.8	10	7	76.4	80.7	③	②
70.2	75.6	11	11	71.1	74.3	11	12	70.1	76.5	12	10
53.5	57.9	22	23	52.7	55.7	22	23	54.5	59.4	22	22
77.8	80.0	②	③	78.4	79.6	②	⑤	77.7	80.4	②	③
75.0	82.2	6	②	78.0	85.6	③	①	73.1	80.2	8	④
67.4	75.5	13	12	66.3	75.3	15	10	68.1	76.0	13	11
70.0	74.7	12	13	69.7	74.1	12	13	70.3	75.2	11	12

※「1-2 廃棄物の適正処理」は、災害廃棄物の処理が完了しており、調査を行っていません。

宮城県震災復興計画の体系に基づく取組	
1-1	被災者の生活環境の確保
1-2	廃棄物の適正処理
1-3	持続可能な社会と環境保全の実現
2-1	安心できる地域医療の確保
2-2	未来を担う子どもたちへの支援
2-3	だれもが住みよい地域社会の構築
3-1	ものづくり産業の復興
3-2	商業・観光の再生
3-3	雇用の維持・確保
4-1	魅力ある農業・農村の再興
4-2	活力ある林業の再生
4-3	新たな水産業の創造
4-4	一次産業を牽引する食産業の振興
5-1	道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進
5-2	海岸、河川などの県土保全
5-3	上下水道などのライフラインの整備
5-4	沿岸市町をはじめとするまちの再構築
6-1	安全・安心な学校教育の確保
6-2	家庭・地域の教育力の再構築
6-3	生涯学習・文化・スポーツ活動の充実
7-1	防災機能の再構築
7-2	大津波等への備え
7-3	自助・共助による市民レベルの防災体制の強化
7-4	安全・安心な地域社会の構築

満足群											
県全体				沿岸部				内陸部			
割合		順位		割合		順位		割合		順位	
今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
38.4	39.8	13	13	39.3	42.7	10	7	37.8	37.9	14	15
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39.7	38.8	10	15	39.1	38.1	11	16	39.9	39.4	10	14
45.5	45.7	③	⑤	48.0	48.5	③	④	44.0	43.8	④	⑤
47.6	49.3	①	①	48.1	51.0	②	①	47.6	48.5	①	①
40.5	41.1	7	10	40.7	41.7	⑤	10	40.8	40.9	7	12
32.3	31.6	20	22	31.4	32.4	20	22	33.2	31.1	20	23
38.6	40.5	12	12	35.4	38.6	16	13	40.8	41.8	7	11
33.3	34.3	19	21	34.4	33.6	19	20	32.5	34.6	21	21
29.7	31.4	23	23	28.8	31.0	23	23	30.0	31.6	23	22
30.0	34.8	22	20	29.4	34.1	22	19	30.4	35.4	22	20
37.7	37.8	14	16	38.1	38.4	13	14	37.4	37.5	16	16
35.8	36.1	18	18	35.8	36.6	15	18	35.9	35.6	18	19
42.4	43.0	⑤	7	40.7	42.6	⑤	8	43.6	43.2	⑤	8
38.7	39.0	11	14	37.8	37.1	14	17	39.3	40.3	12	13
45.1	49.0	④	②	45.7	50.0	④	③	44.3	48.4	③	②
37.2	37.1	16	17	35.4	38.2	16	15	38.2	36.6	13	17
40.1	45.9	8	④	39.6	44.7	8	⑤	40.8	46.6	7	④
37.7	43.7	14	6	38.4	44.2	12	6	37.2	43.3	17	7
32.1	35.3	21	19	30.8	33.3	21	21	33.4	36.6	19	17
41.3	42.1	6	9	39.5	40.5	9	11	42.7	43.4	6	6
46.9	48.9	②	③	48.5	50.9	①	②	45.6	47.9	②	③
36.7	41.1	17	10	35.1	39.0	18	12	37.6	42.5	15	9
39.9	42.3	9	8	40.1	42.0	7	9	39.6	42.5	11	9

宮城県震災復興計画の体系に基づく取組	
1-1	被災者の生活環境の確保
1-2	廃棄物の適正処理
1-3	持続可能な社会と環境保全の実現
2-1	安心できる地域医療の確保
2-2	未来を担う子どもたちへの支援
2-3	だれもが住みよい地域社会の構築
3-1	ものづくり産業の復興
3-2	商業・観光の再生
3-3	雇用の維持・確保
4-1	魅力ある農業・農村の再興
4-2	活力ある林業の再生
4-3	新たな水産業の創造
4-4	一次産業を牽引する食産業の振興
5-1	道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進
5-2	海岸、河川などの県土保全
5-3	上下水道などのライフラインの整備
5-4	沿岸市町をはじめとするまちの再構築
6-1	安全・安心な学校教育の確保
6-2	家庭・地域の教育力の再構築
6-3	生涯学習・文化・スポーツ活動の充実
7-1	防災機能の再構築
7-2	大津波等への備え
7-3	自助・共助による市民レベルの防災体制の強化
7-4	安全・安心な地域社会の構築

不満群											
県全体				沿岸部				内陸部			
割合		順位		割合		順位		割合		順位	
今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
24.8	27.8	③	③	25.7	26.5	④	6	24.7	29.1	③	①
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24.5	26.7	⑤	⑤	23.6	26.6	9	⑤	25.4	26.7	②	④
21.5	22.6	11	10	21.7	21.2	13	13	21.3	23.5	11	10
21.0	19.6	12	14	21.3	19.3	14	16	20.8	19.6	12	13
22.9	21.8	8	12	22.9	21.5	10	12	22.7	21.9	6	12
22.9	25.9	8	6	24.5	25.9	7	7	21.7	26.2	8	⑤
20.7	22.3	14	11	24.6	22.7	6	11	18.3	22.1	15	11
24.7	28.5	④	①	24.9	30.7	⑤	②	24.7	27.1	③	③
22.4	25.3	10	9	22.4	25.0	12	9	22.7	25.7	6	7
17.5	18.0	22	19	17.5	18.5	22	18	17.6	17.6	19	21
18.3	20.1	19	13	21.2	23.3	15	10	16.3	17.9	22	19
18.3	18.7	19	15	19.2	17.7	20	22	17.8	19.6	18	14
24.5	25.8	⑤	7	29.5	29.0	③	④	21.5	24.0	10	9
28.2	27.7	①	④	31.9	31.8	①	①	26.2	25.2	①	8
16.4	16.9	23	22	17.5	18.1	22	20	15.9	16.0	23	22
24.9	28.1	②	②	30.5	29.6	②	③	21.6	27.2	9	②
20.9	17.9	13	20	22.6	17.8	11	21	19.8	18.1	13	17
19.1	17.8	15	21	19.0	17.4	21	23	19.3	18.3	14	16
17.7	16.2	21	23	19.4	18.7	18	17	16.5	14.5	21	23
24.5	25.5	⑤	8	24.5	25.2	7	8	24.6	25.8	⑤	6
18.8	18.6	16	16	20.9	20.1	16	14	17.6	17.7	19	20
18.7	18.4	17	18	20.1	18.4	17	19	17.9	18.5	17	15
18.5	18.5	18	17	19.3	19.5	19	15	18.0	18.1	16	17



むすび丸

復興へ
頑張ろう!
みやぎ